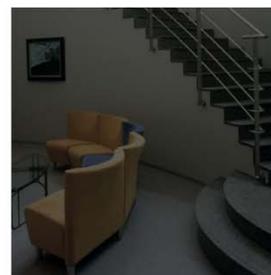
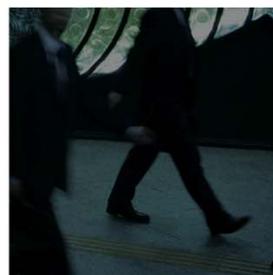
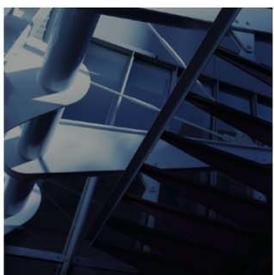
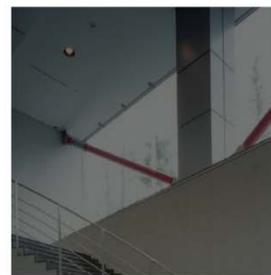
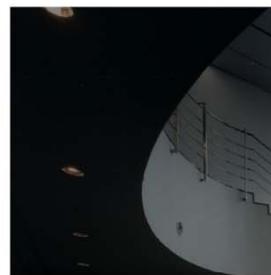


2012年6月期 第2四半期累計期間

決算説明会

2012年2月17日

 構造計画研究所
KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc.



KKE
Results
Briefing



1. 決算の概要	3
2. セグメント別の状況	19
3. 通期見通し	25
4. 付加価値向上による成長戦略	35
5. (参考)付加価値成長を実現するために(事業TOPICS)	47

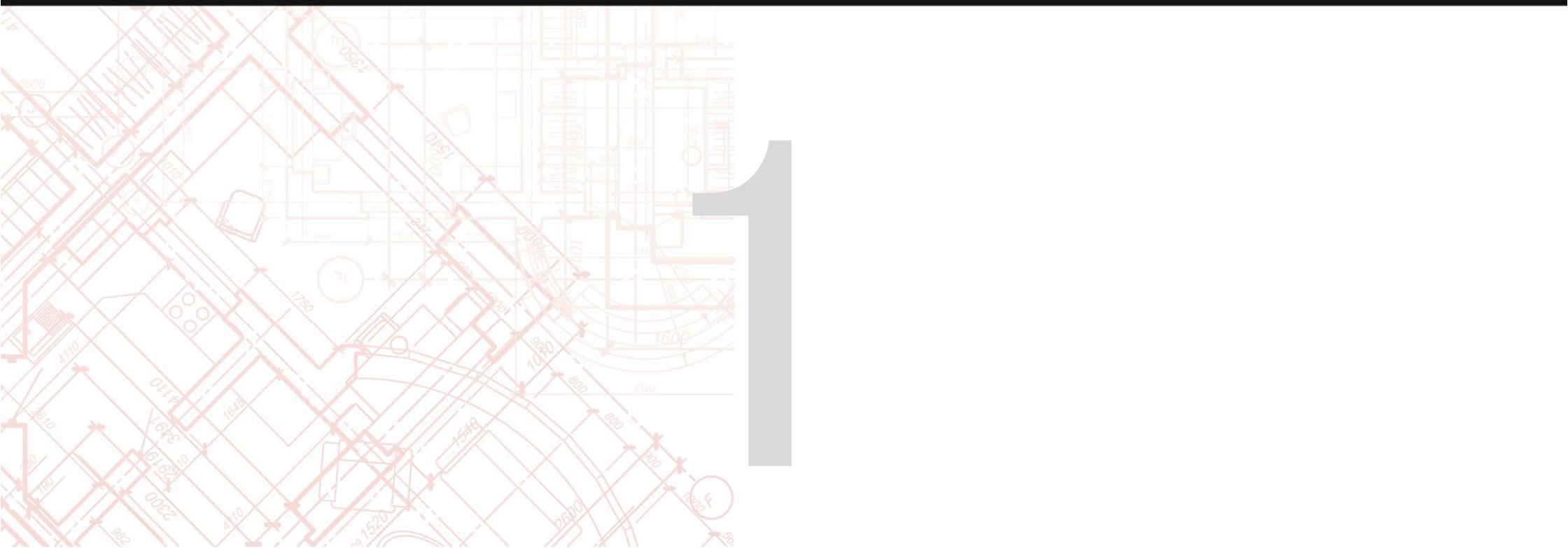
【本資料についてのご注意】

- ・ 本資料の記載金額は原則、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・ 本資料に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般に株式会社構造計画研究所ならびに各社の商標または登録商標です。



KKE
Results
Briefing

決算の概要



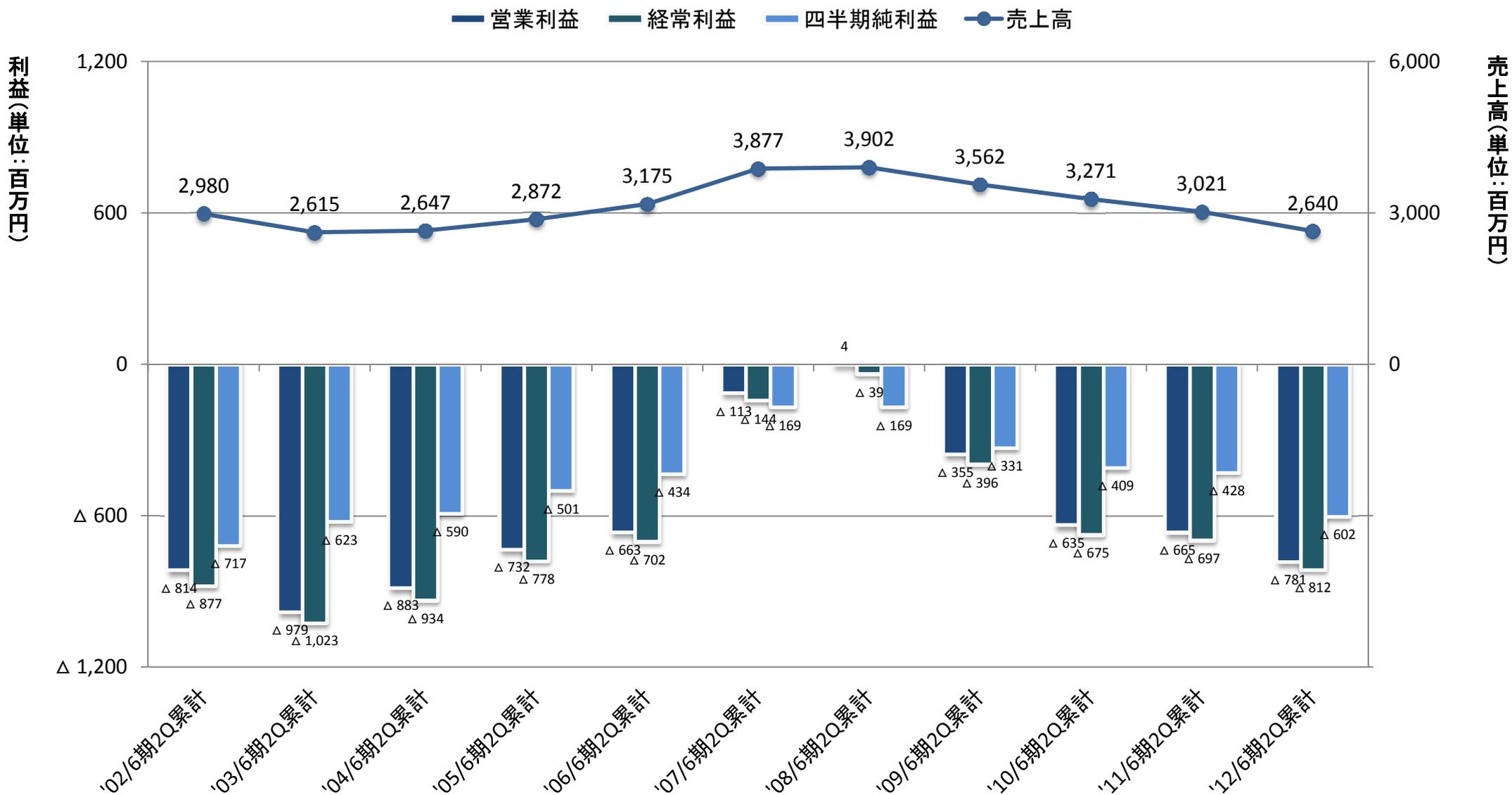
1

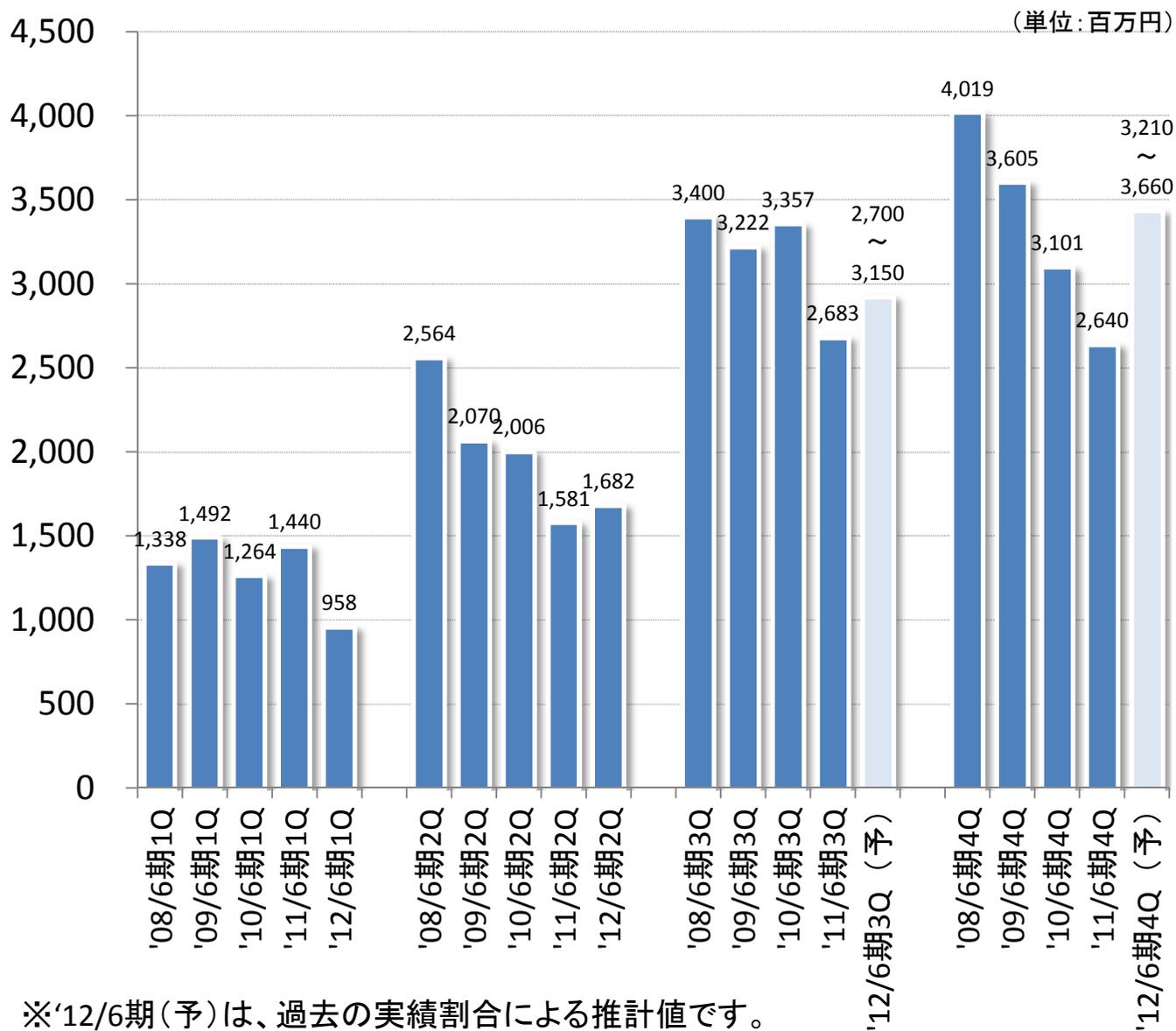
(単位:百万円)

	'11/06期2Q累計	'12/06期2Q累計		対計画増減額 (増減率)	対前年同期増減額 (増減率)
		計画	実績		
売上高	3,021	3,000	2,640	△359 (△12.0%)	△381 (△12.6%)
営業利益	△665	△580	△781	△201 (-)	△116 (-)
経常利益	△697	△630	△812	△182 (-)	△114 (-)
四半期 純利益	△428	△400	△602	△202 (-)	△173 (-)



第2四半期累計期間の業績推移





※'12/6期(予)は、過去の実績割合による推計値です。

■ 売上高の季節変動

- 受託プロジェクトの検収・納期が、顧客期末の3月以降に集中する季節変動要因が存在
- 例年、年間売上高の約70%が下半期に集中

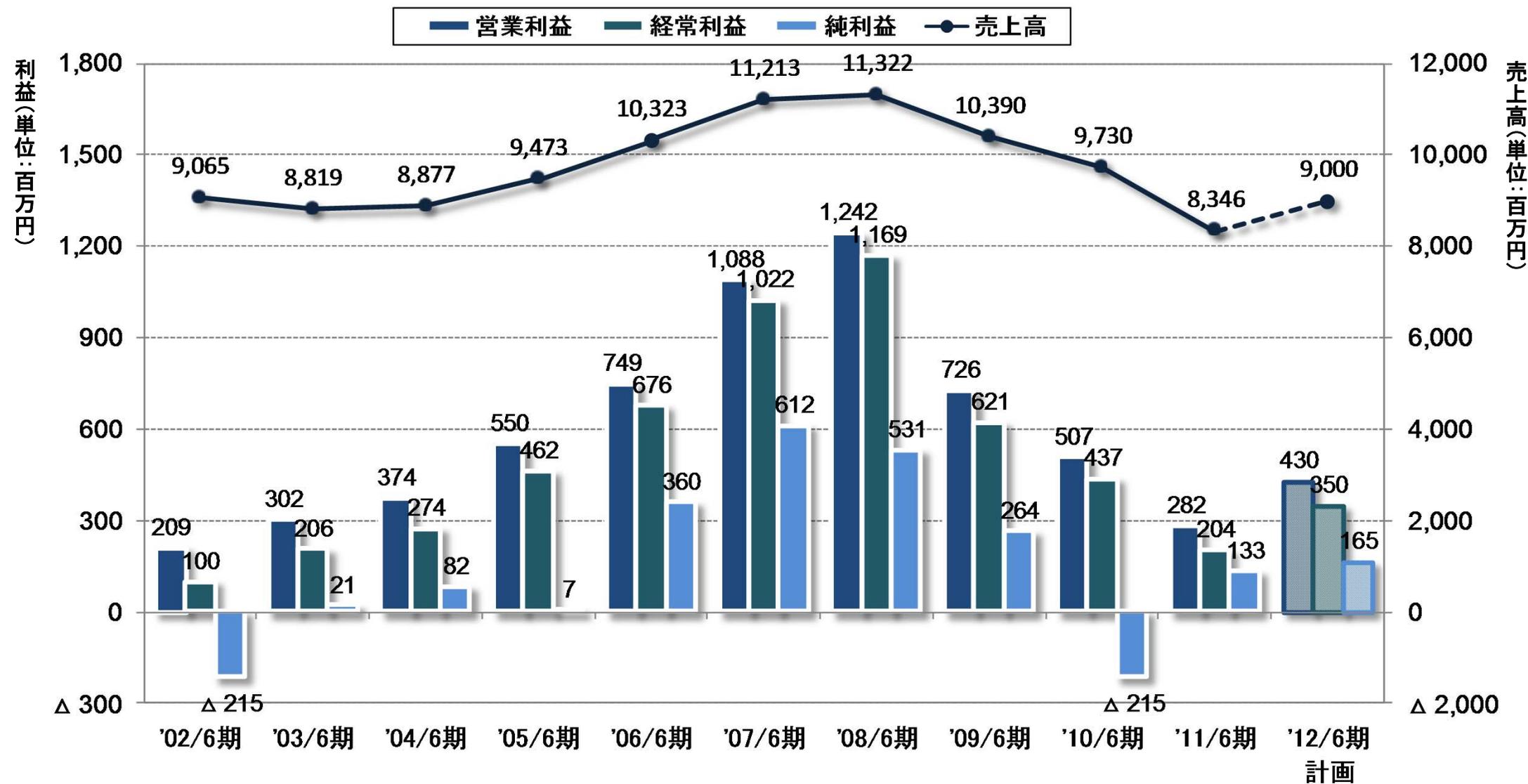
■ 販売費及び一般管理費の計上

- 人材、営業、新規事業などへの投資を重視する当社では、販売費及び一般管理費が総経費の35%弱を占有
- 販売費及び一般管理費は売上高変動に依存することなく月次計上されることから、上半期の業績を圧迫

以上により、下半期に比べ上半期の業績数値は低くなる傾向



通期の業績推移と年度計画



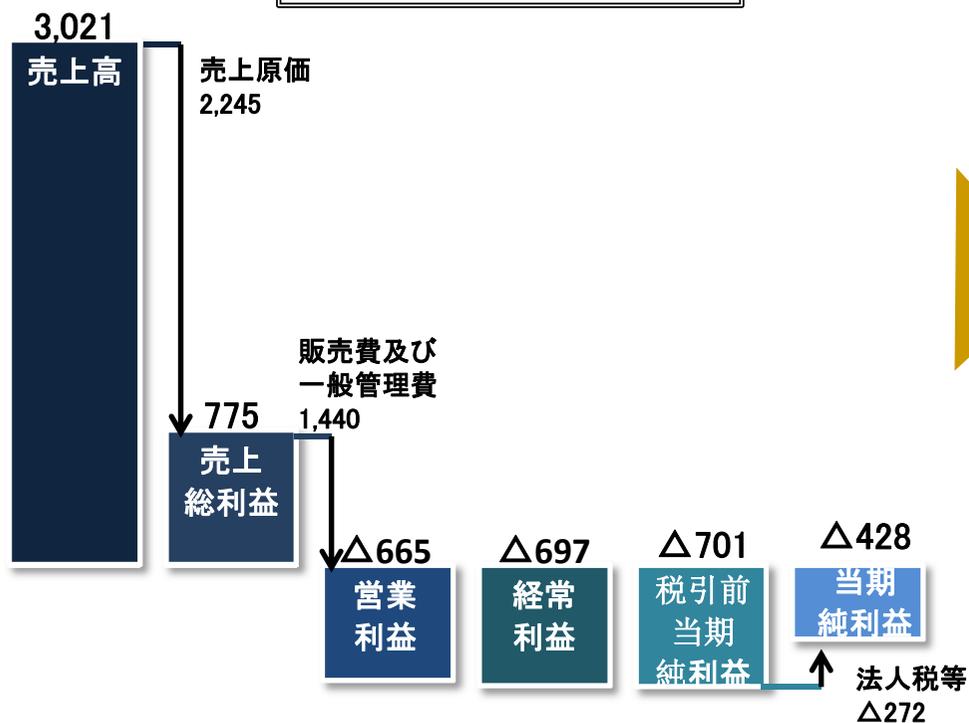


(単位:百万円)

	'11/6期2Q累計	'12/6期2Q累計	対前年同期増減額
売上高	3,021	2,640	△381
売上原価	2,245	2,080	△164
売上総利益 (売上総利益率)	775 (25.7%)	559 (21.2%)	△216
販売費及び一般管理費	1,440	1,341	△99
営業利益(△損失) (営業利益率)	△665 (△22.0%)	△781 (△29.6%)	△116
営業外損益	△32	△30	△2
経常利益(△損失) (経常利益率)	△697 (△23.1%)	△812 (△30.8%)	△114
特別損益	△3	△65	61
税引前当期純利益(△損失)	△701	△877	△176
法人税等	△272	△275	△2
当期純利益(△損失) (当期純利益率)	△428 (△14.2%)	△602 (△22.8%)	△173

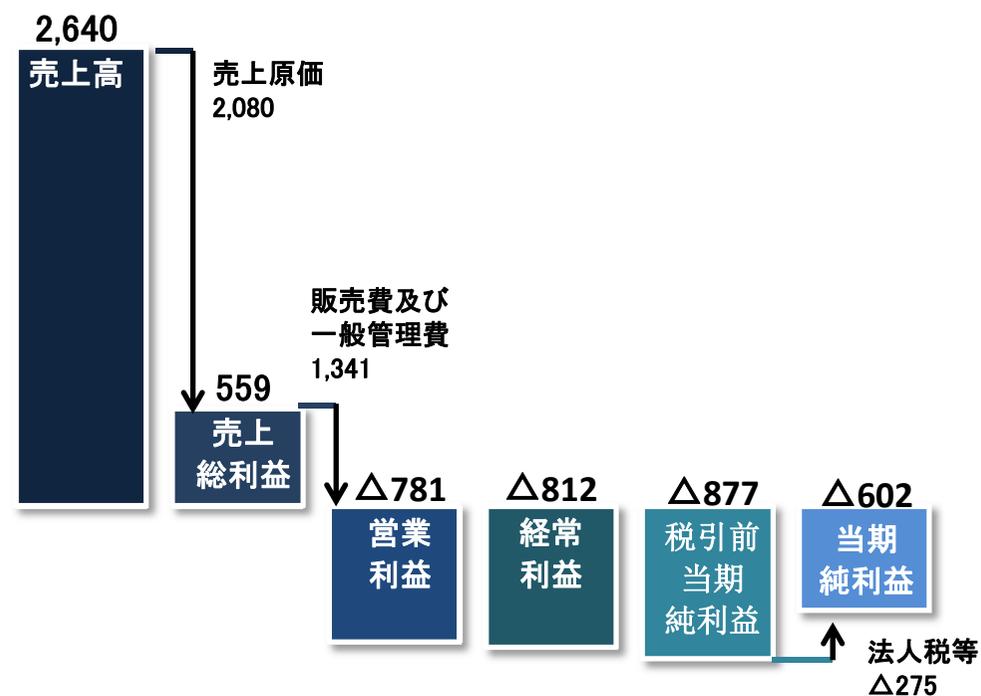


2011年6月期2Q累計



2012年6月期2Q累計

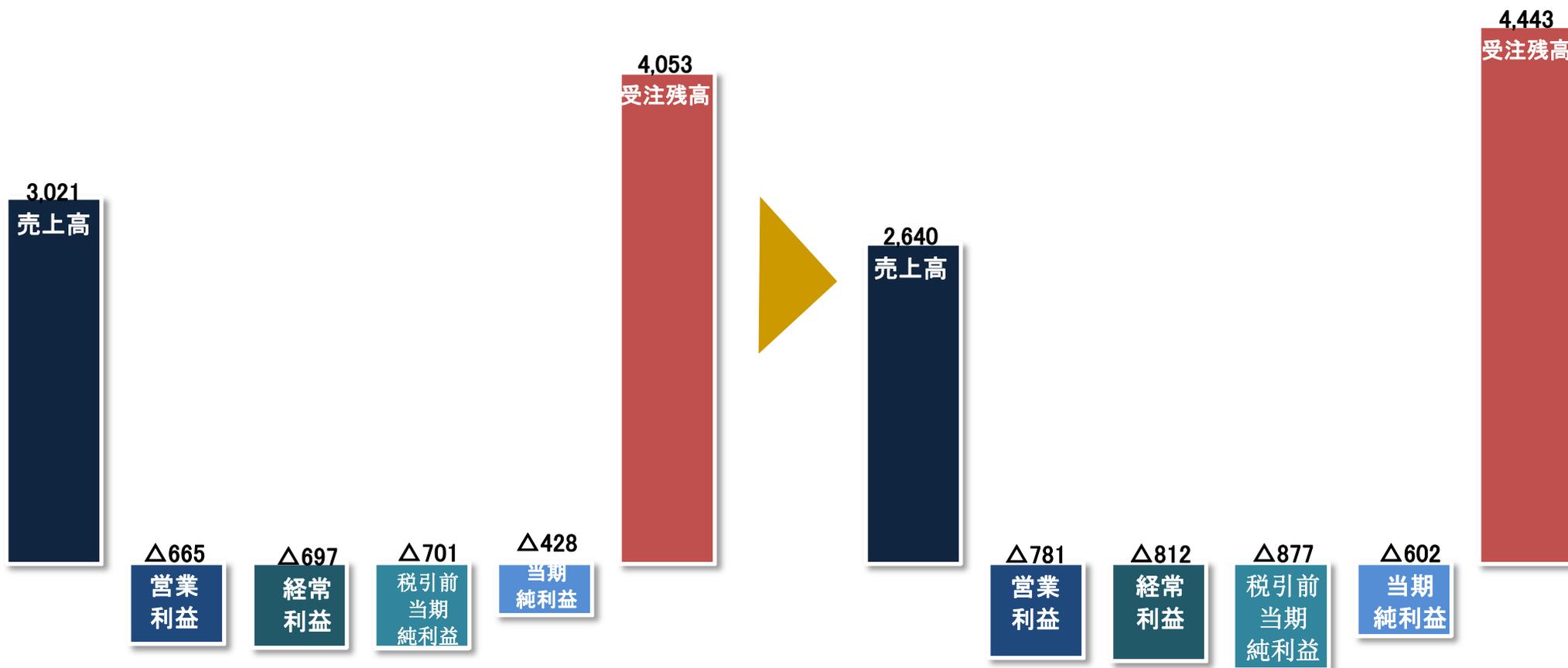
(単位:百万円)



2011年6月期2Q累計

2012年6月期2Q累計

(単位:百万円)



□ 受注残高は前年同期より増加(389百万円)



(単位:百万円)

	'11/6期末	'12/6期2Q	対前年同期 増減額
流動資産合計	3,679	3,750	70
現金・預金	1,584	1,186	△398
売上債権	1,203	981	△222
固定資産合計	7,107	7,180	72
有形固定資産	5,764	5,749	△15
投資その他の資産	1,039	1,059	19
資産合計	10,787	10,930	143

	'11/6期末	'12/6期2Q	対前年同期 増減額
負債合計	7,004	7,823	819
流動負債	4,871	5,237	366
短期借入金 [※]	3,610	3,935	325
固定負債	2,132	2,585	452
長期借入金	540	960	420
純資産合計	3,783	3,107	△675
負債・純資産合計	10,787	10,930	143

※ 「1年内返済予定の長期借入金」は短期借入金に含めて計算しております。



'12/6期 第2四半期 貸借対照表

2011年6月期末B/S

総資産: 10,787
負債+純資産: 10,787

流動資産 3,679 現・預金 1,584 売上債権 1,203 仕掛品 370	流動負債 4,871 前受金 155
固定資産 7,107 無形 固定資産 303 投資その他 1,039	固定負債 2,132 長期借入金 540
	純資産 3,783 利益剰余金 1,984

2012年6月期2QB/S

(単位: 百万円)

総資産: 10,930
負債+純資産: 10,930

流動資産 3,750 現・預金 1,186 売上債権 981 仕掛品 781	流動負債 5,237 前受金 249 賞与引当金 128
固定資産 7,180 無形 固定資産 371 投資その他 1,059	固定負債 2,585 長期借入金 960
	純資産 3,107 利益剰余金 1,324

資産の変化(143百万円)

- **流動資産の増加(70百万円)**
現金及び預金の減少(△398百万円)
売上債権の減少(△222百万円)
仕掛品の増加(410百万円)
- **固定資産の増加(72百万円)**
無形固定資産の増加(68百万円)
投資その他の資産の増加(19百万円)

負債の変化(819百万円)

- **流動負債の増加(366百万円)**
前受金の増加(93百万円)
賞与引当金の計上(128百万円)
- **固定負債の増加(452百万円)**
長期借入金の増加(420百万円)

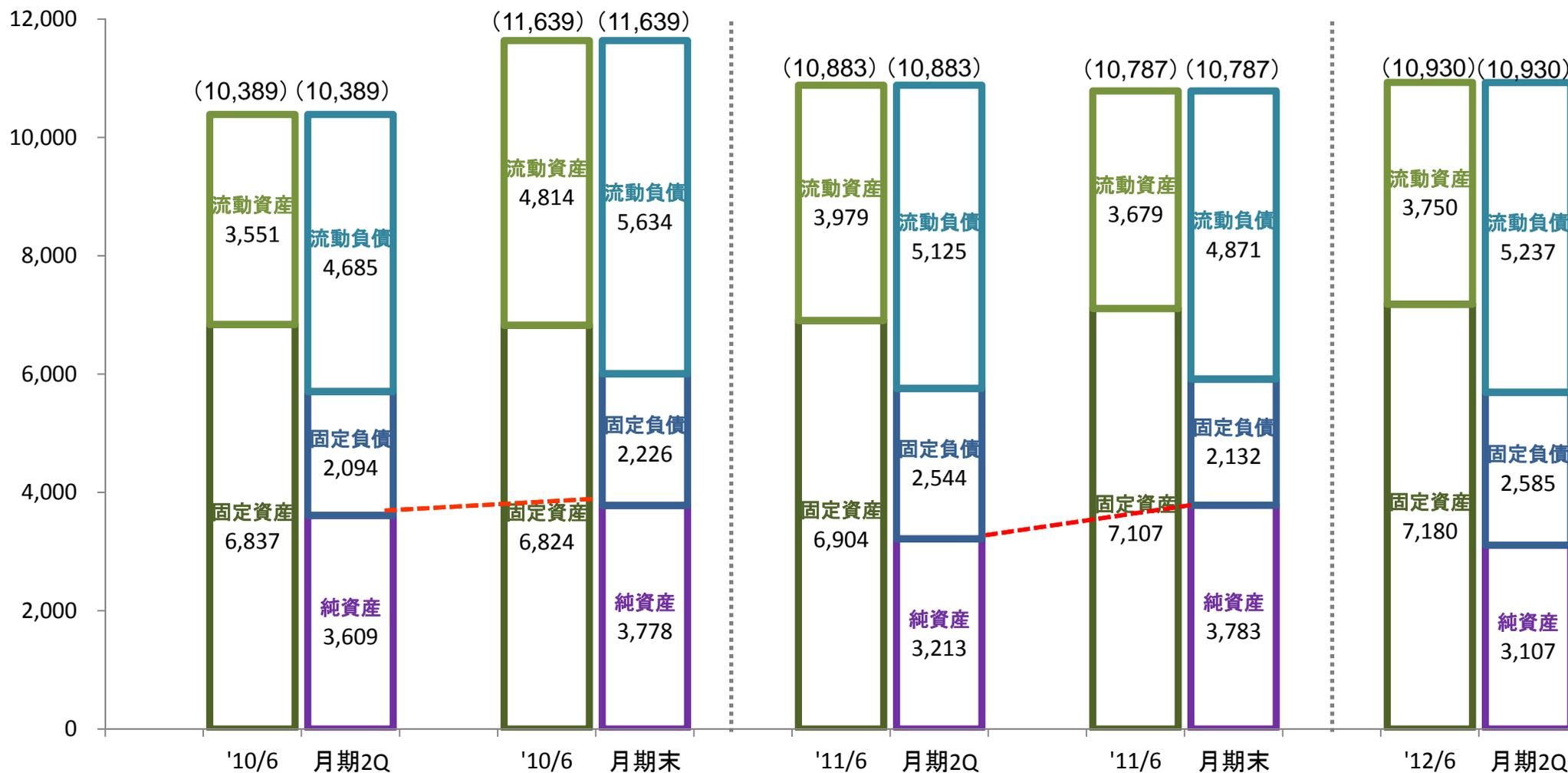
純資産の変化(△675百万円)

- **利益剰余金の減少(△659百万円)**



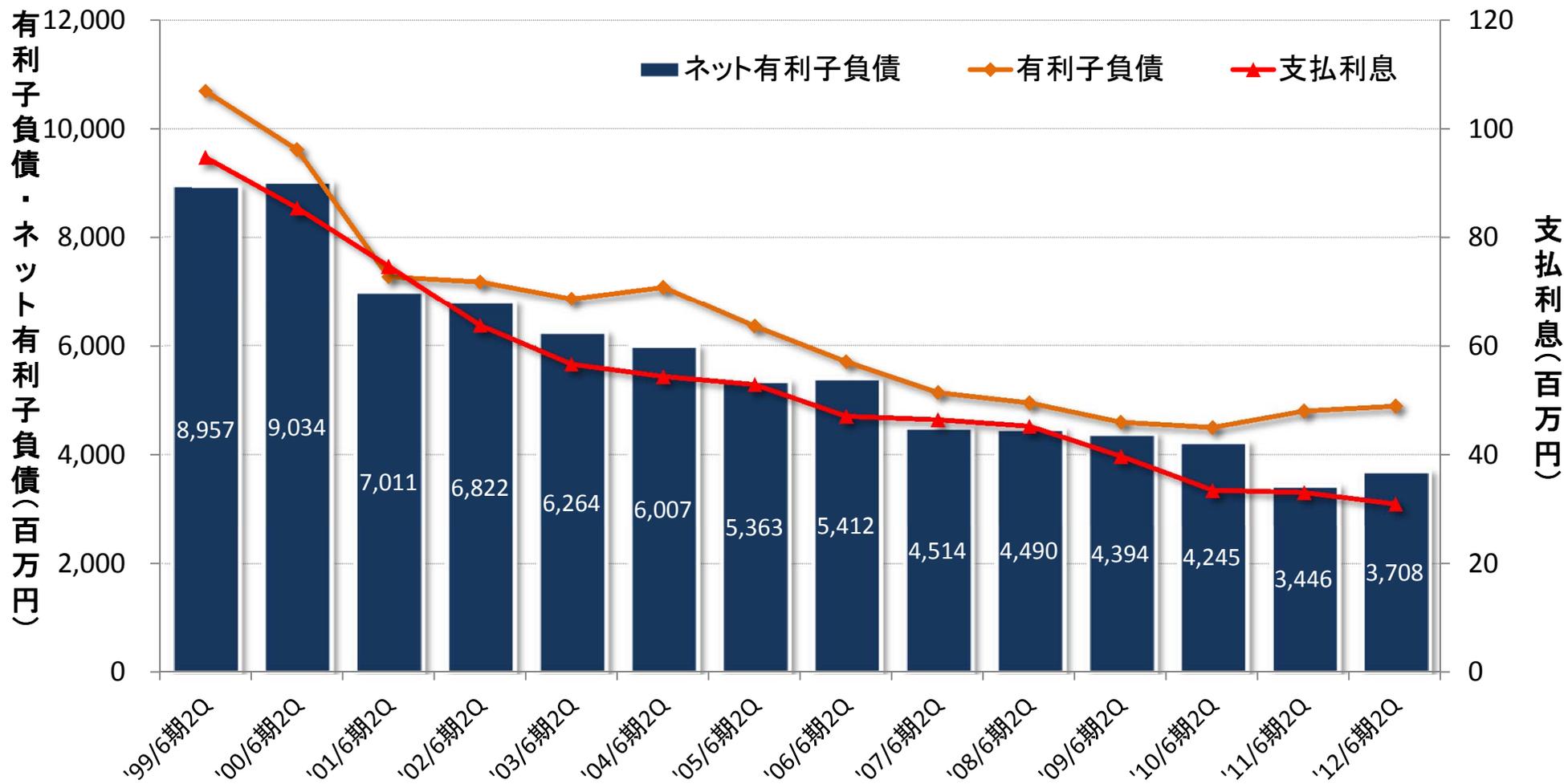
半期ごとの貸借対照表の変化

(単位:百万円)





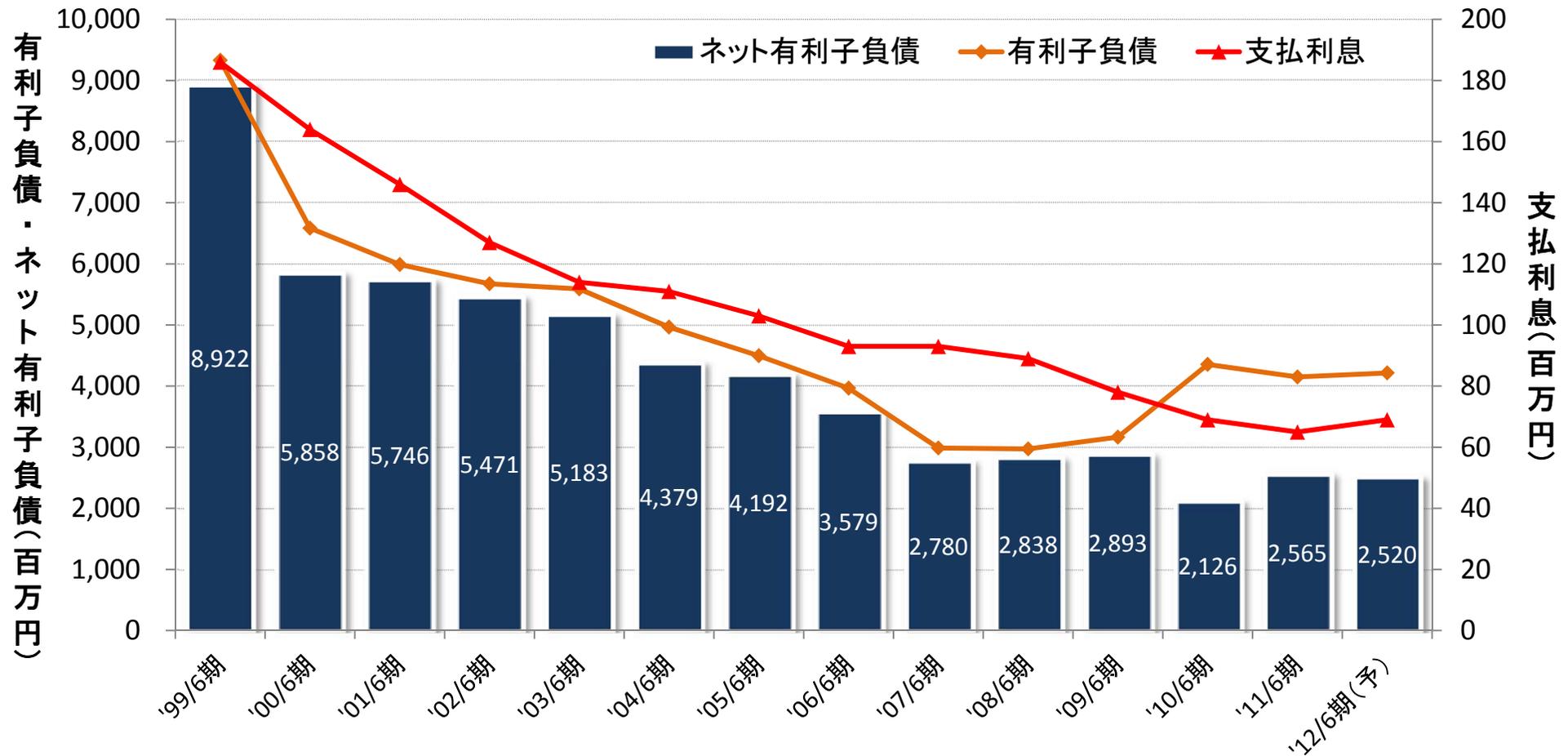
第2四半期におけるネット有利子負債の推移



※リース債務は含んでおりません。



ネット有利子負債と支払利息の推移



※リース債務は含んでおりません。



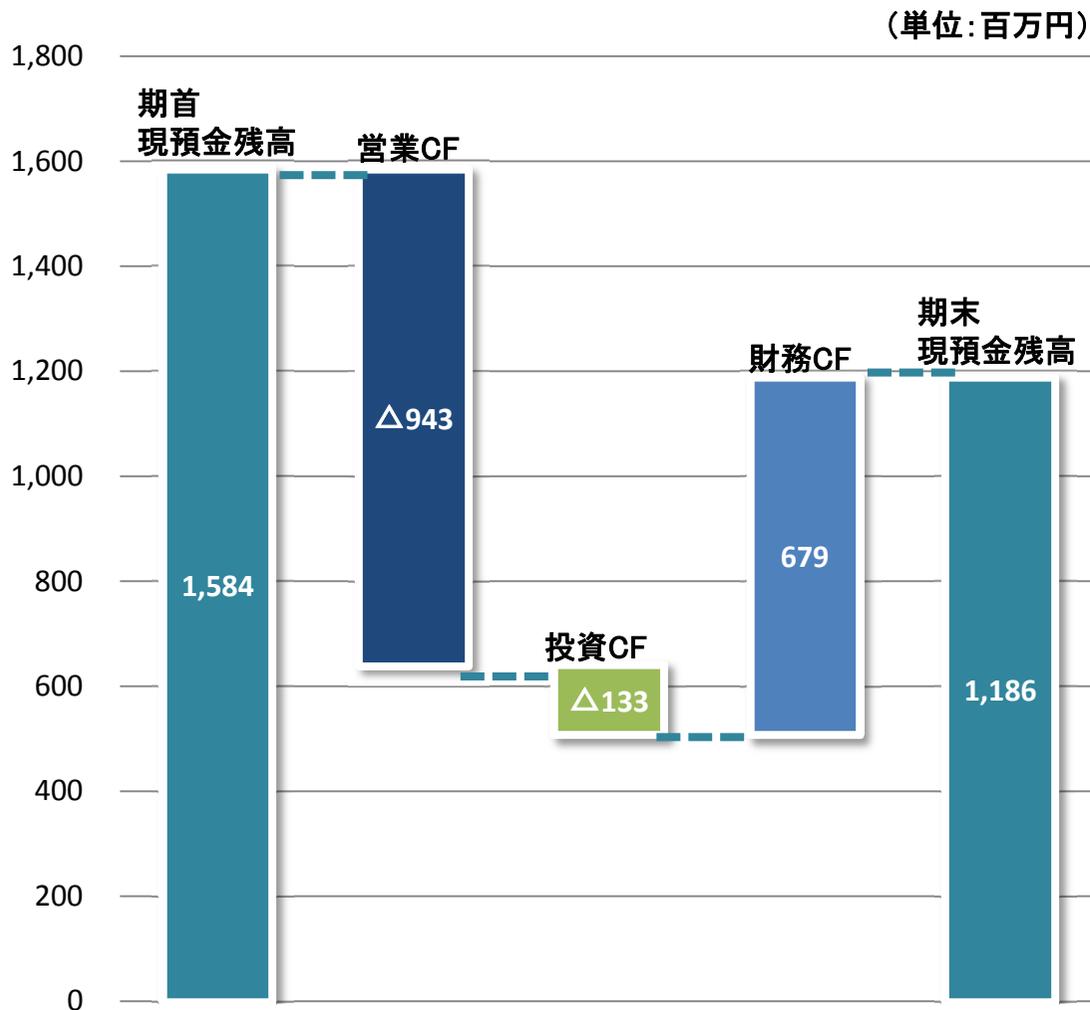
(単位:百万円)

	'11/6期2Q	'12/6期2Q
期首現預金残高	2,228	1,584
営業活動CF	△1,026	△943
投資活動CF	△157	△133
フリー・キャッシュ・フロー	△1,184	△1,077
財務活動CF	315	679
期末現預金残高	1,358	1,186



2012年6月期2Q CF

(平成23年7月1日～平成23年12月31日)



営業キャッシュ・フロー主要内訳

- 税引前当期純利益 $\Delta 877$ 百万円
- 棚卸資産の増加 $\Delta 410$ 百万円
- 売上債権の減少 465百万円
- 未払費用の減少 $\Delta 195$ 百万円

投資キャッシュ・フロー主要内訳

- 有形固定資産の取得 $\Delta 20$ 百万円
- 無形固定資産の取得 $\Delta 104$ 百万円

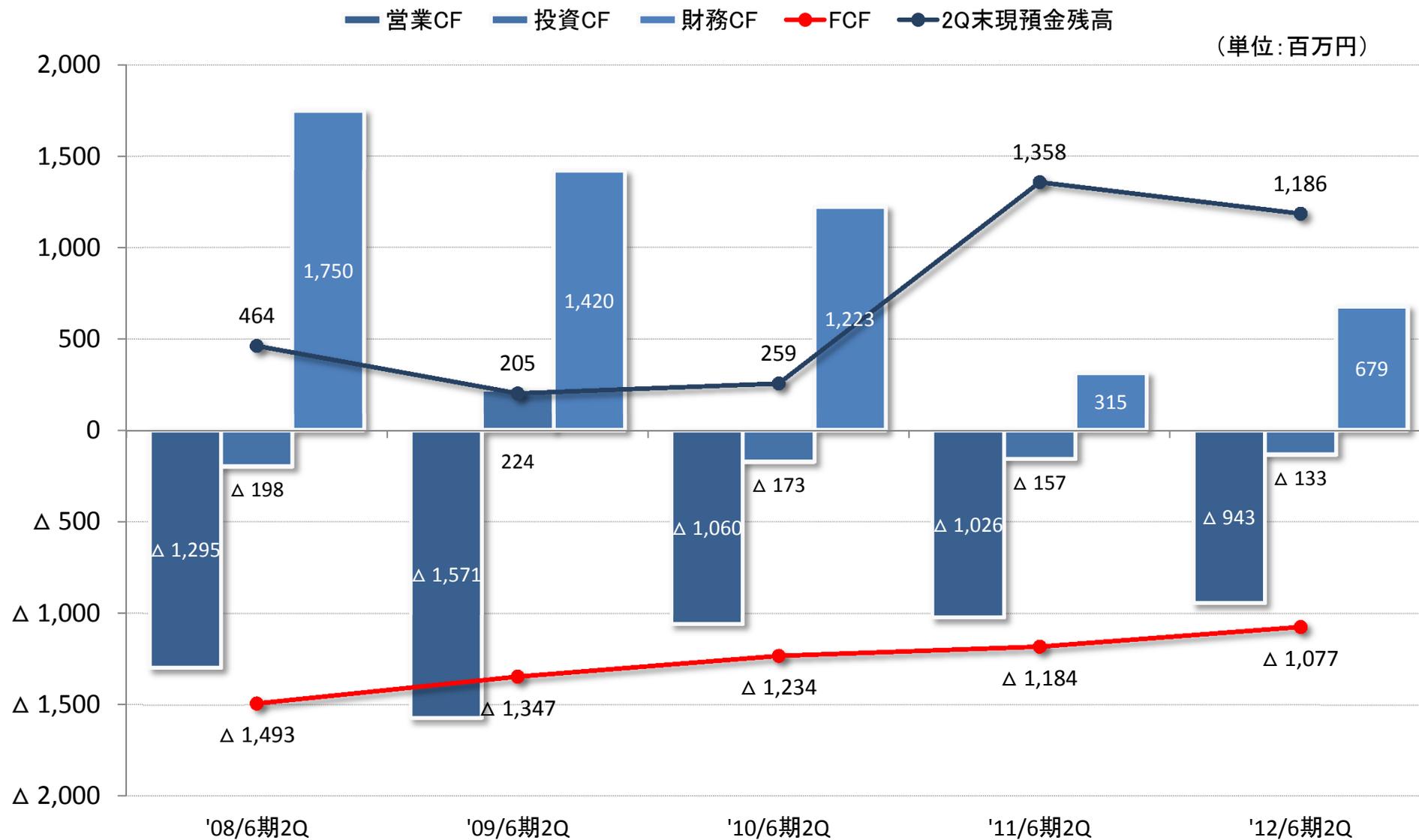
財務キャッシュ・フロー主要内訳

- 長期借入金の純増 745百万円

フリー・キャッシュフロー $\Delta 1,077$ 百万円(前年同期比106百万円)



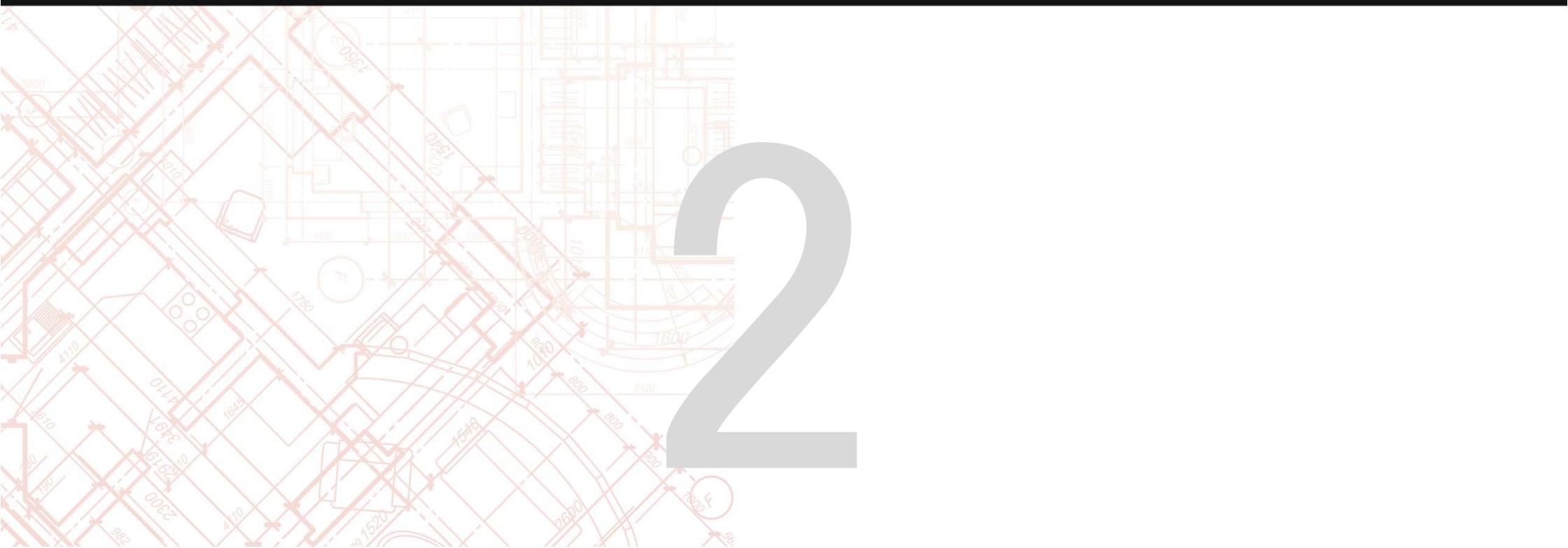
過去5年間の第2四半期キャッシュ・フローの状況





KKE
Results
Briefing

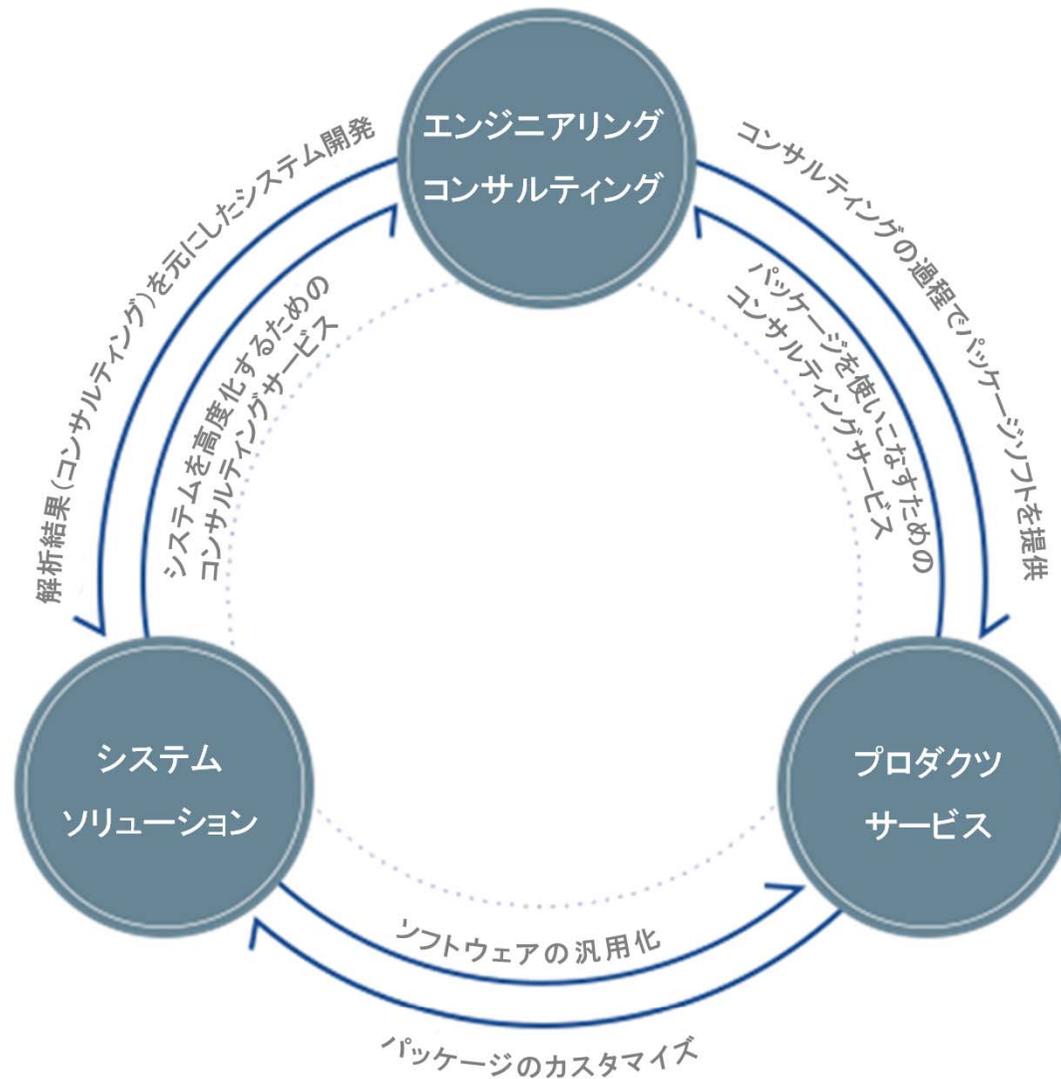
セグメント別の状況



2



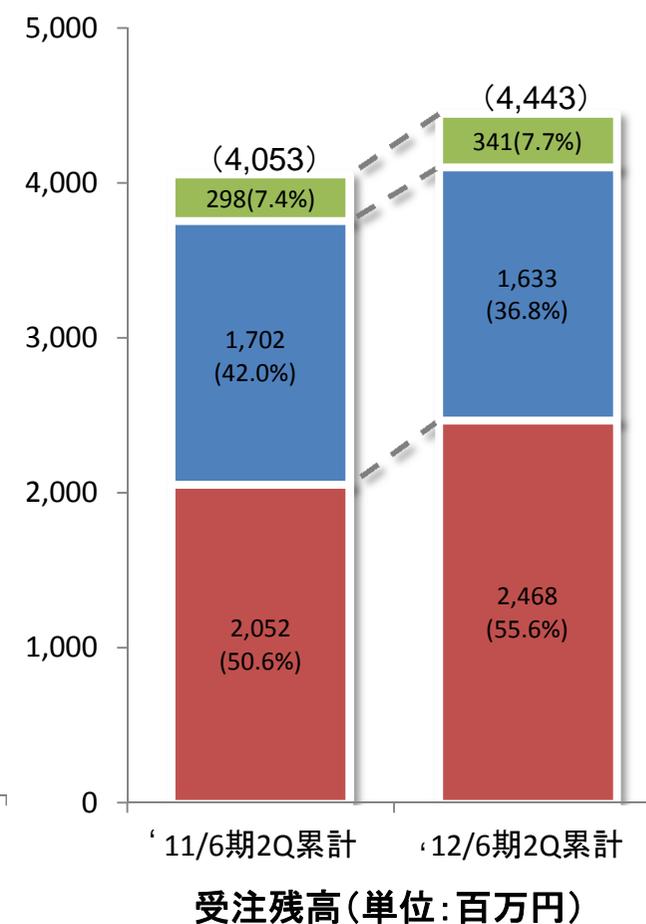
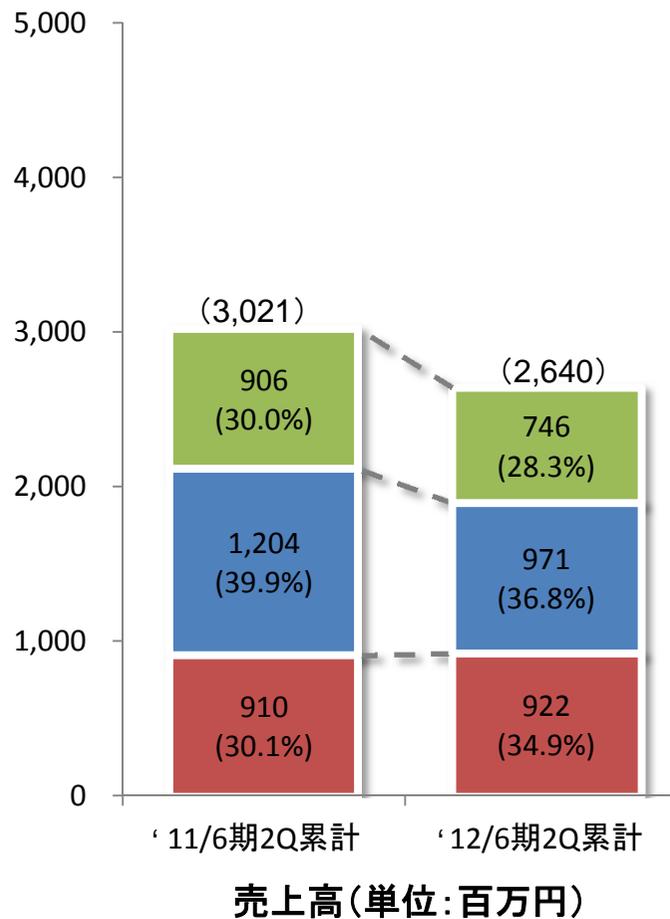
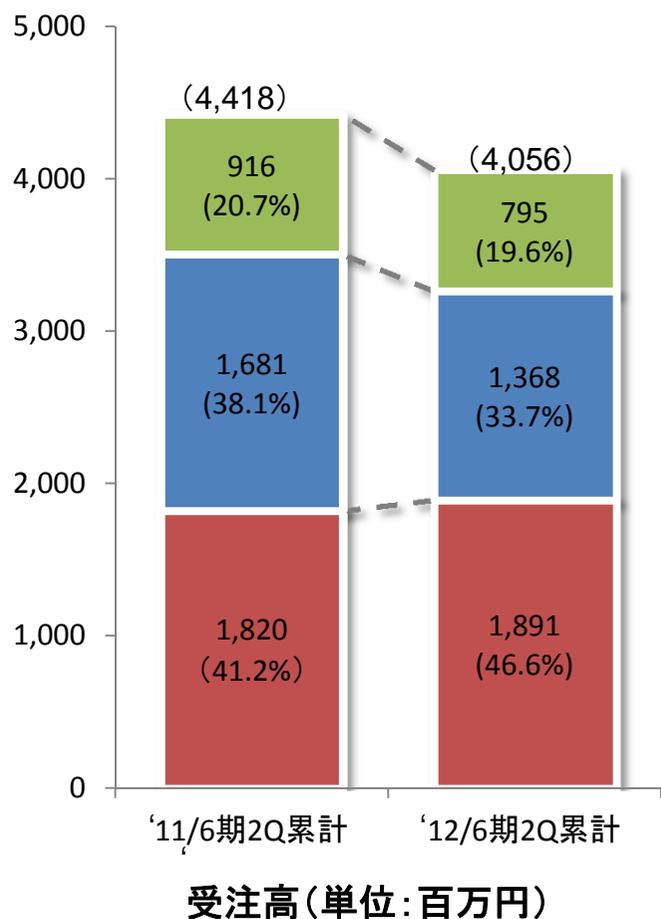
セグメント間のシナジー





セグメント別受注高・売上高・受注残高の状況

- エンジニアリングコンサルティング
- システムソリューション
- プロダクツサービス





①エンジニアリングコンサルティング

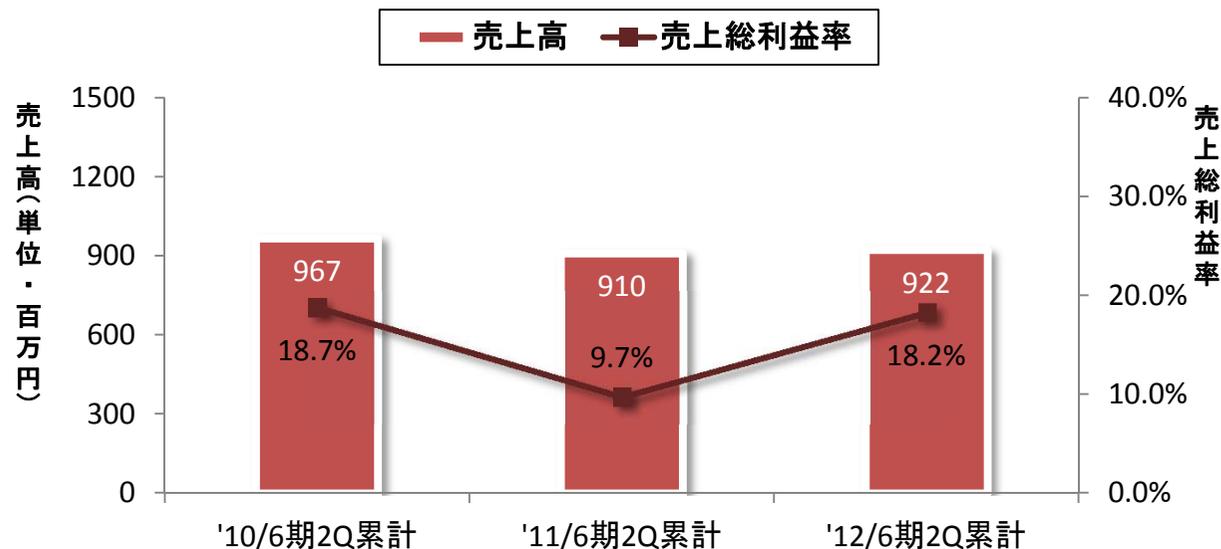
(単位:百万円)

	'10/6期2Q累計	'11/6期2Q累計	'12/6期2Q累計	増減率
受注高	2,023	1,820	1,891	3.9%
受注残高	2,457	2,052	2,468	20.3%
売上高	967	910	922	1.3%
売上原価	786	822	754	△8.2%
売上総利益 (利益率)	180 (18.7%)	87 (9.7%)	167 (18.2%)	90.6%

- ◆ 防災・耐震・環境評価解析コンサル
- ◆ 建築物の構造設計
- ◆ ソフトウェア開発の要求定義・基本検討
- ◆ 製造・物流系シミュレーション
- ◆ マーケティングコンサル、リスク分析
- ◆ マルチエージェントシミュレーション

業績分析

- 通信関連の研究開発機関向けの研究試作業などが減少
- 防災・耐震関連の解析コンサルティング業務や建築物の免震・制振関連業務が堅調に推移
- 避難シミュレータを使った防災系新規テーマの受注拡大





②システムソリューション

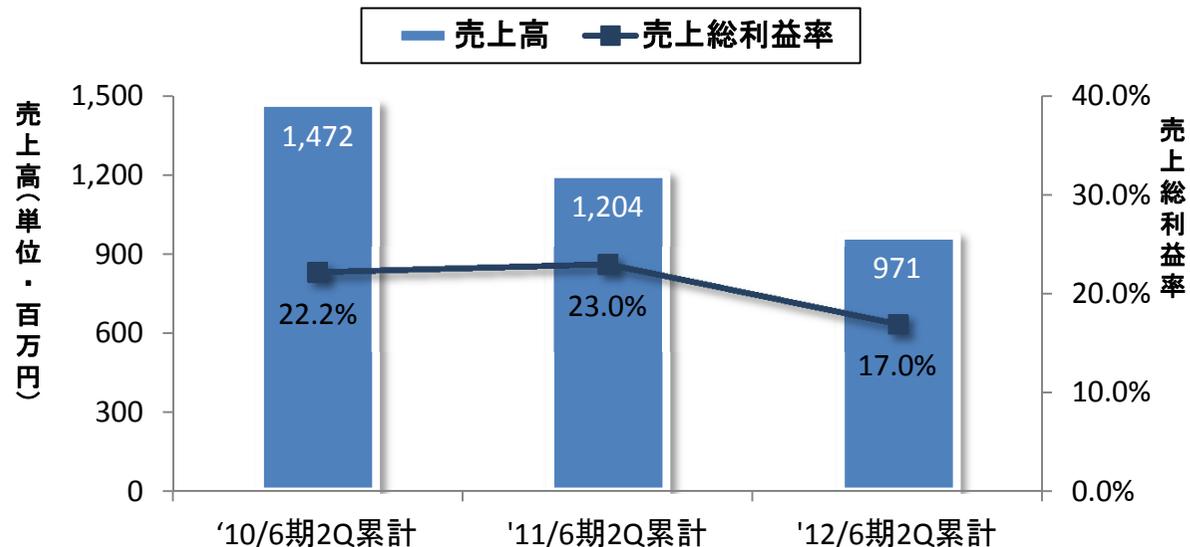
(単位:百万円)

	'10/6期2Q累計	'11/6期2Q累計	'12/6期2Q累計	増減率
受注高	1,837	1,681	1,368	△18.6%
受注残高	2,222	1,702	1,633	△4.1%
売上高	1,472	1,204	971	△19.4%
売上原価	1,145	928	805	△13.2%
売上総利益 (利益率)	326 (22.2%)	276 (23.0%)	165 (17.0%)	△40.2%

- ◆ 構造設計支援システム
- ◆ 移动通信・モバイル・ネットワーク通信システム
- ◆ 交通関連ソリューションシステム
- ◆ マルチメディアソリューションシステム
- ◆ 製造業向け営業・設計支援システム

業績分析

- 大手住宅メーカー及び交通事業者向けのシステム開発業務が堅調に推移
- 大手通信キャリア向け及び住宅設備事業者向けのシステム開発業務が減少





③プロダクツサービス

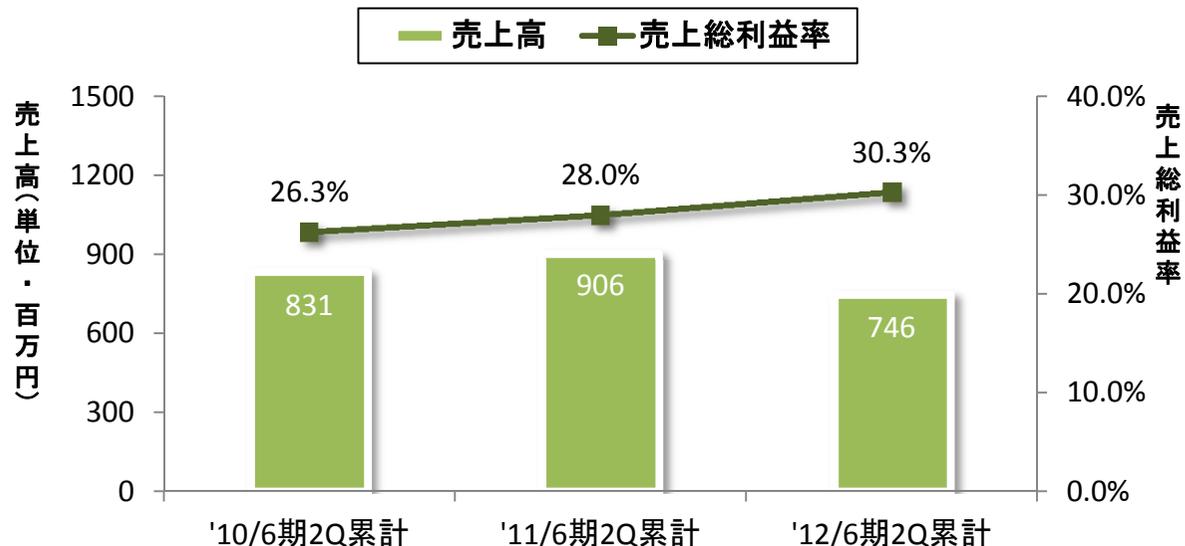
(単位:百万円)

	'10/6期2Q累計	'11/6期2Q累計	'12/6期2Q累計	増減率
受注高	745	916	795	△13.2%
受注残高	198	298	341	14.3%
売上高	831	906	746	△17.6%
売上原価	613	652	520	△20.3%
売上総利益 (利益率)	218 (26.3%)	253 (28.0%)	226 (30.3%)	△10.9%

- ◆ 建設系構造解析・耐震検討ソフト
- ◆ ネットワークシミュレーションソフト
- ◆ 電波伝搬・電磁波解析ソフト
- ◆ 製造系設計者向けCAEソフト
- ◆ マーケティング・意思決定支援ソフト
- ◆ 統計解析ソフト、画像認識ソフト
- ◆ コンサルティング、トレーニング

業績分析

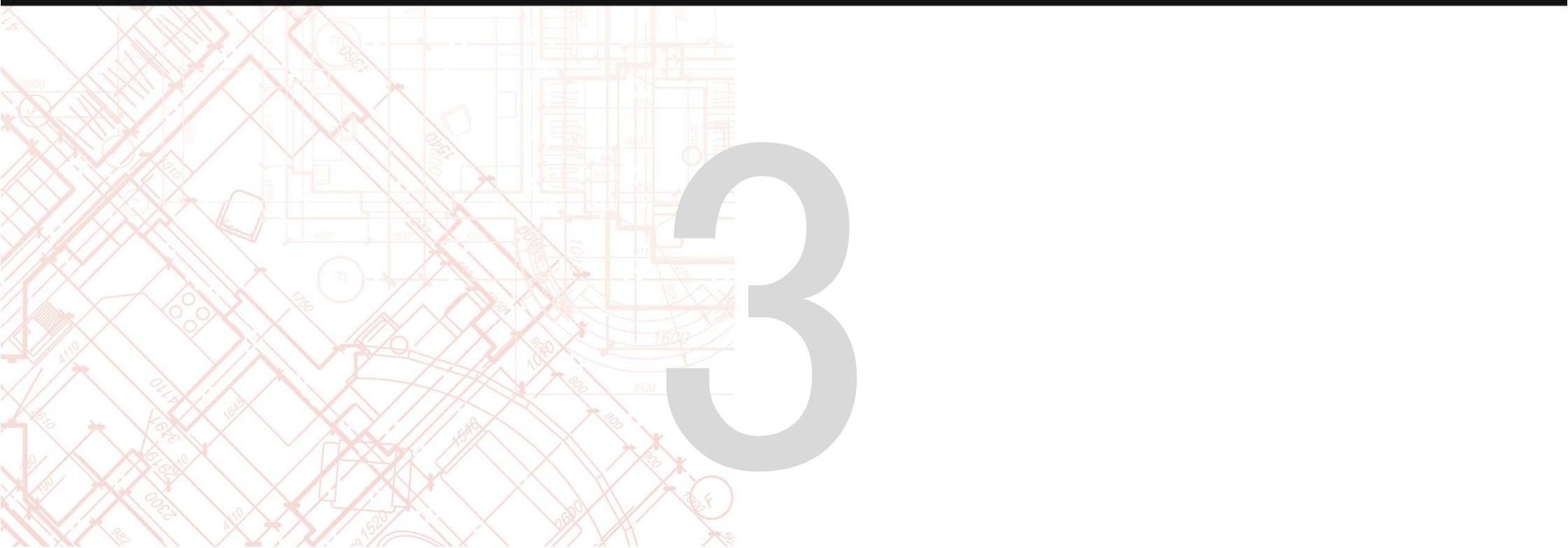
- リスク分析・意思決定支援ソフトの販売は比較的堅調に推移
- 製造系設計者向けCAEソフト及びネットワークシミュレーションソフトの販売が伸び悩み





KKE
Results
Briefing

通期見通し



3

(単位:百万円)

	‘12/6期2Q累計		‘12/6期 通期業績予想
	予想	実績	
売上高	3,000	2,640	9,000
営業利益	△580	△781	430
経常利益	△630	△812	350
純利益	△400	△602	165
配当金	-	-	@12円/株

- ・ 通期の見通しは、平成23年8月19日発表の通期業績予想を変更いたしません

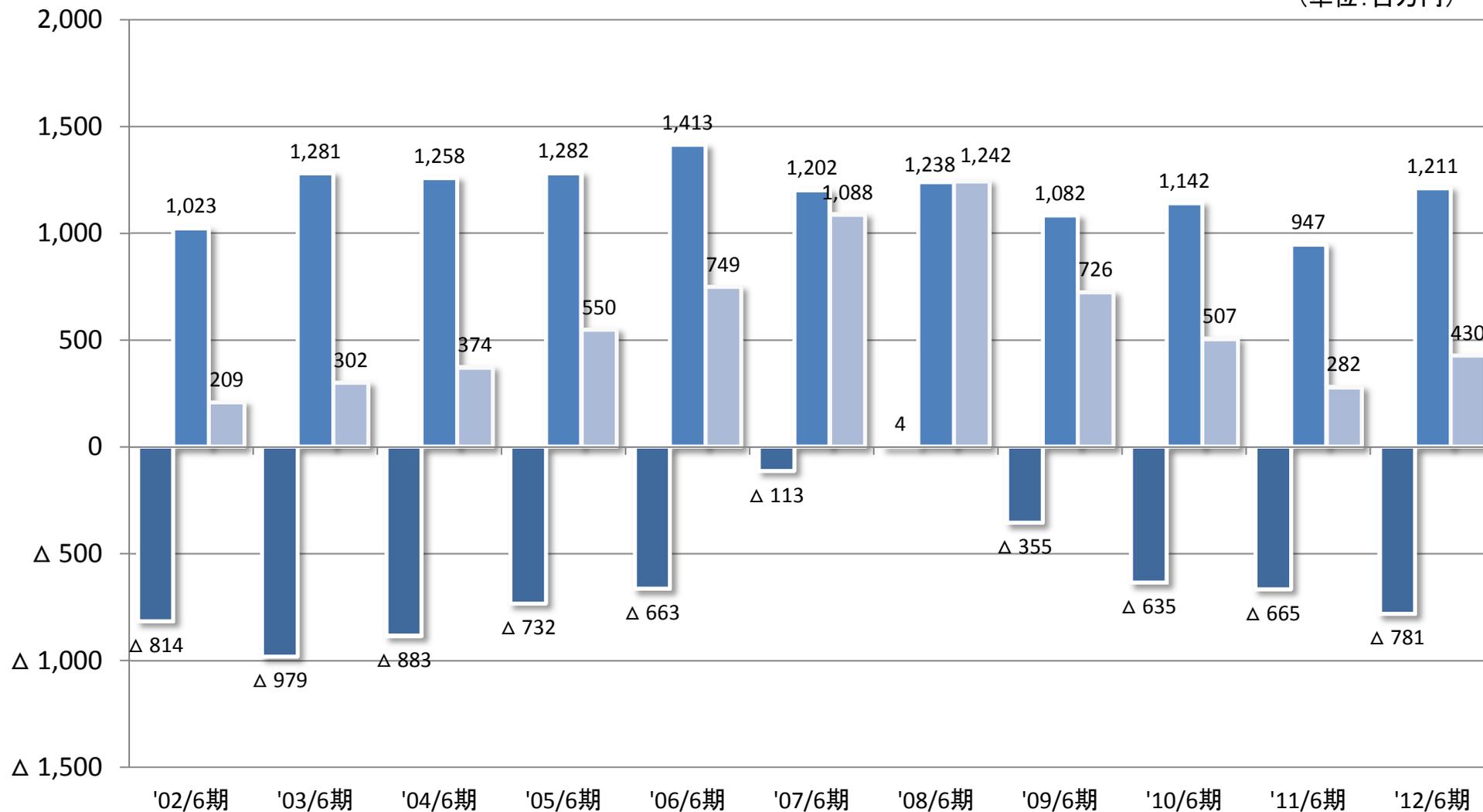
(注) 業績予想は、現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確実な要因等を含みます



通期業績達成の根拠1

■ 営業利益（上半期） ■ 営業利益（下半期） ■ 営業利益（通期）

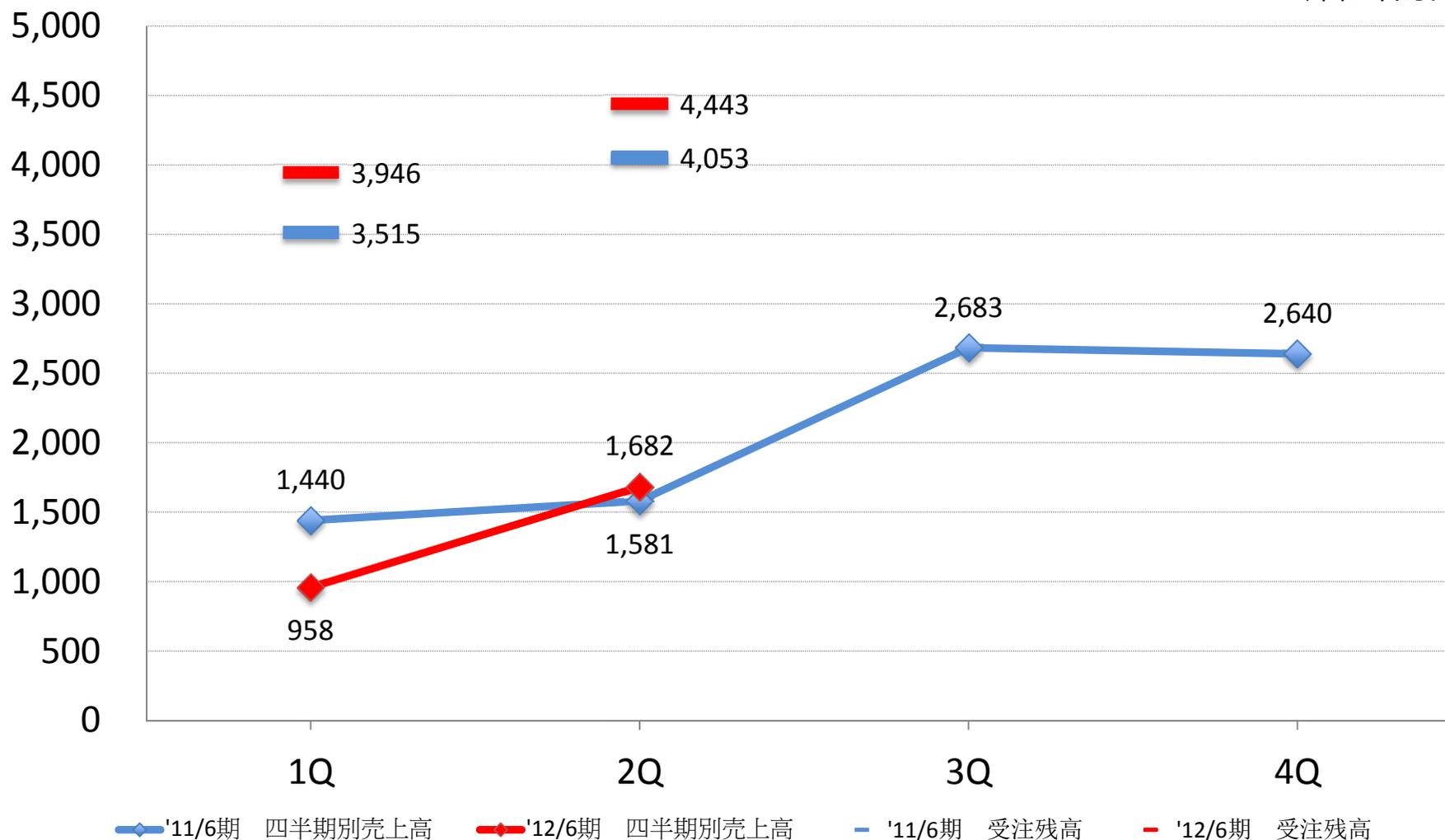
(単位: 百万円)





四半期別売上高の推移と受注残高の状況(前期比)

(単位:百万円)

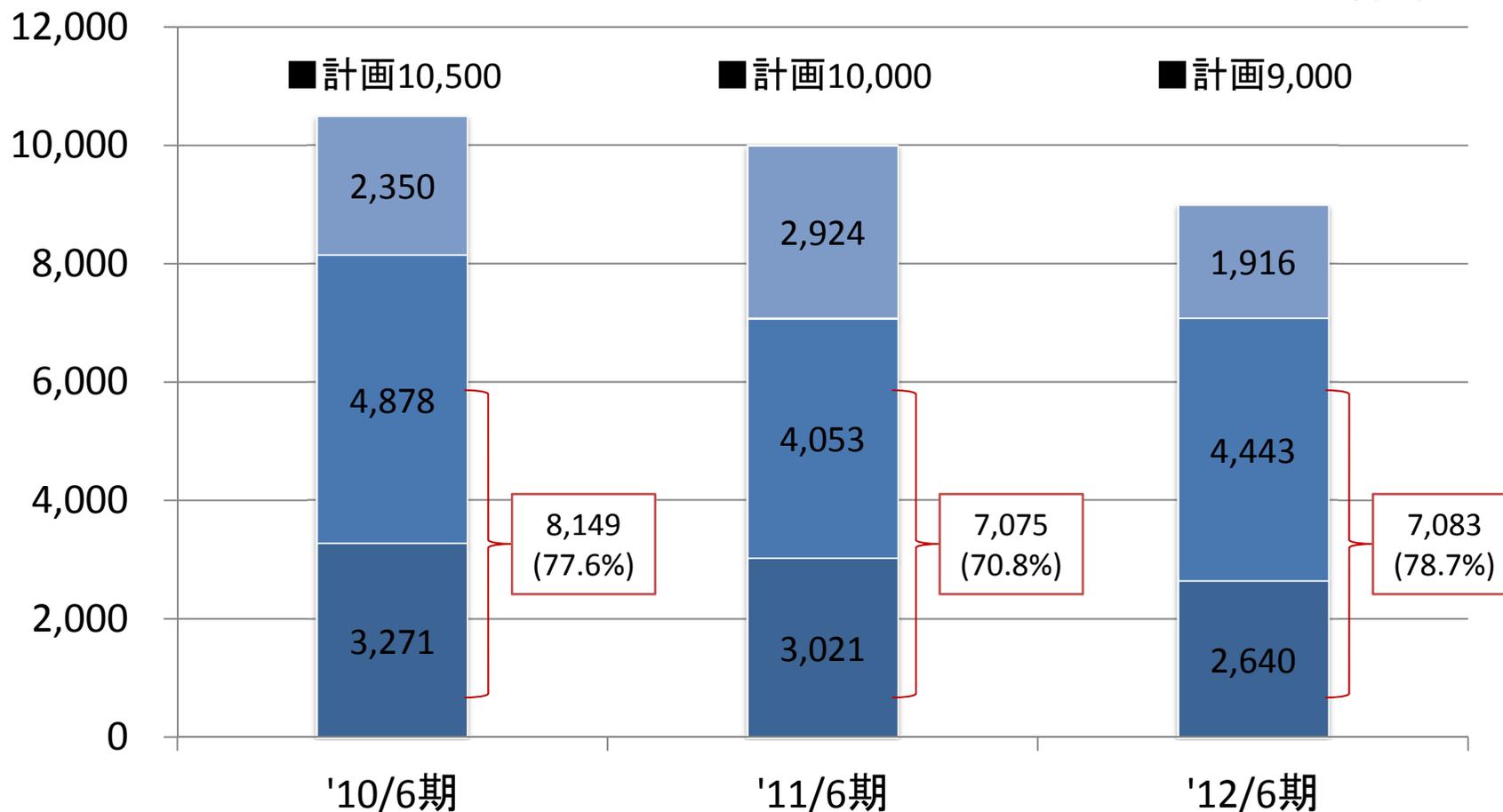




通期業績達成の根拠3

■ 中間売上高 ■ 受注残高 ■ 下期必要受注量

(単位:百万円)



品質管理の徹底

- 業績に大きな影響を与える不良プロジェクトは存在しない

給与制度の改訂

- 業績連動型年俸制の導入

外注費等コスト管理の徹底

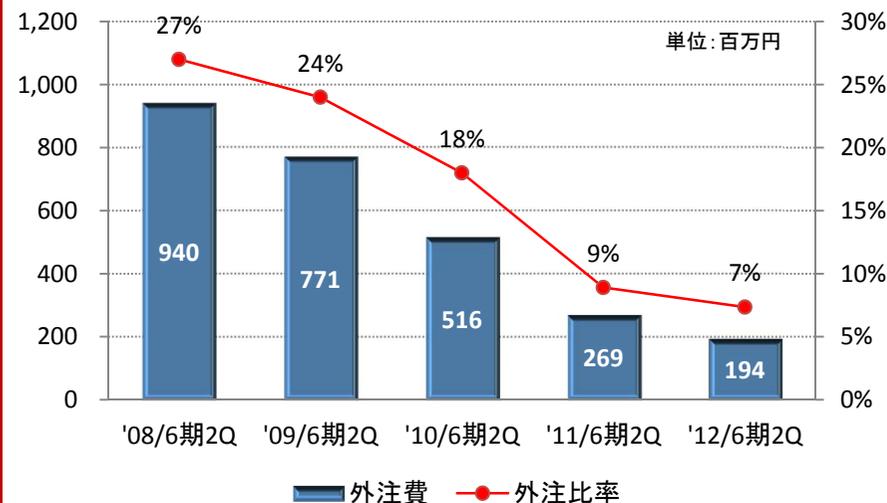
- 業務の内製化により、外注費をはじめとするコスト管理を徹底

【給与制度の改訂】

業績連動型の年俸制を導入し、給与・賞与の変動費率を高めることで、所員のモチベーション向上を図るとともに、利益のブレ幅を縮小します。

※対象者 263名／546名（48%）

第2四半期における外注比率の推移(製造総費用)



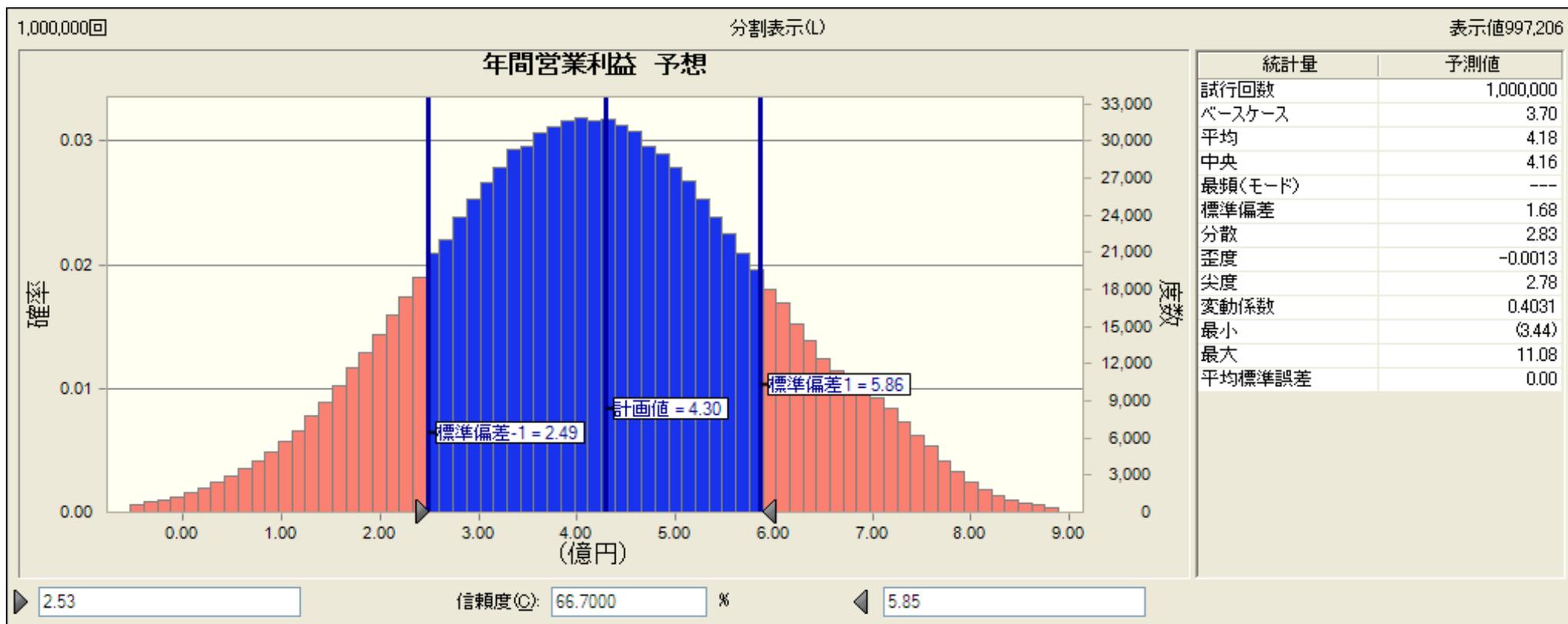
【第2四半期末時点の通期業績予測における変動要因】

以下の変動要因を考慮し、通期の業績予想を実施
なお、変動パラメータは過去3年の実績データを参考に設定

- ・ 下半期受注予測に対する下半期売上高の変動
- ・ 下半期売上想定利益率の変動
- ・ 中間期末受注残高に対する下半期売上高予測の変動
- ・ 業績連動型賃金制度による人件費の変動

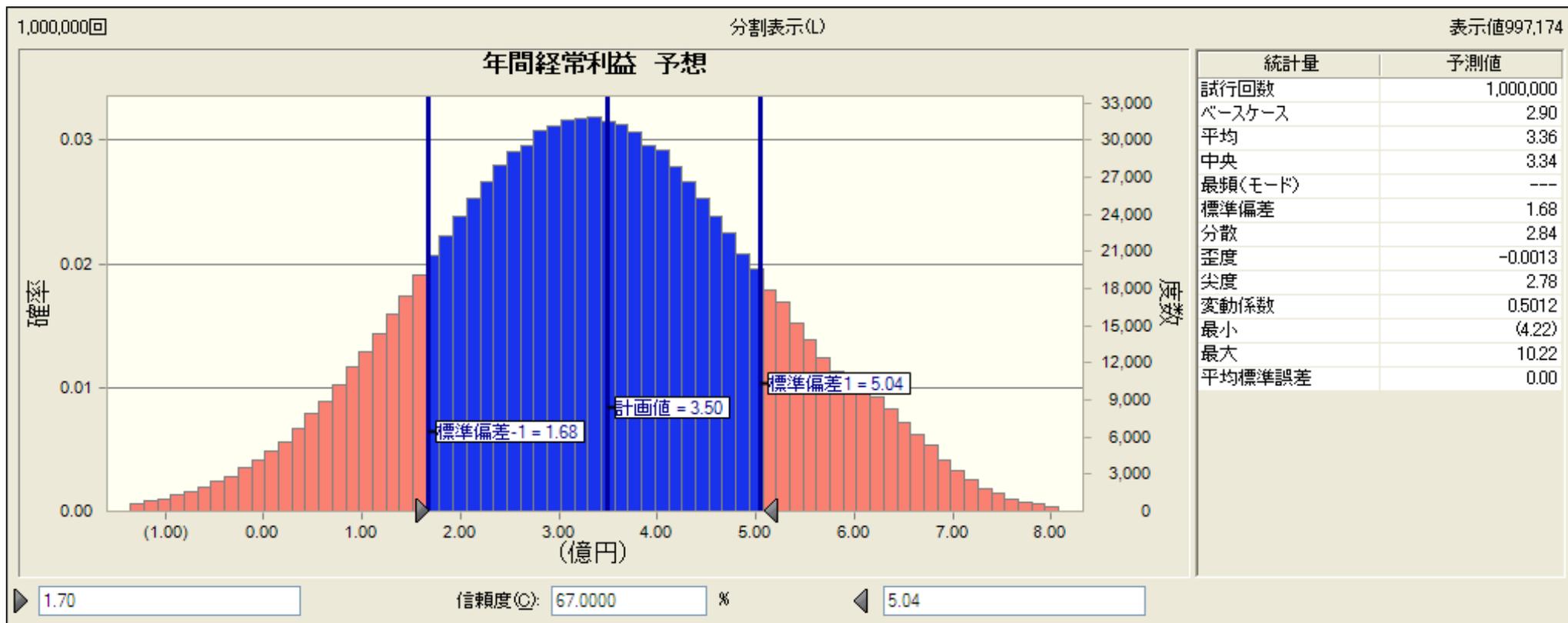


「Crystal Ball」による通期業績予想 ①営業利益

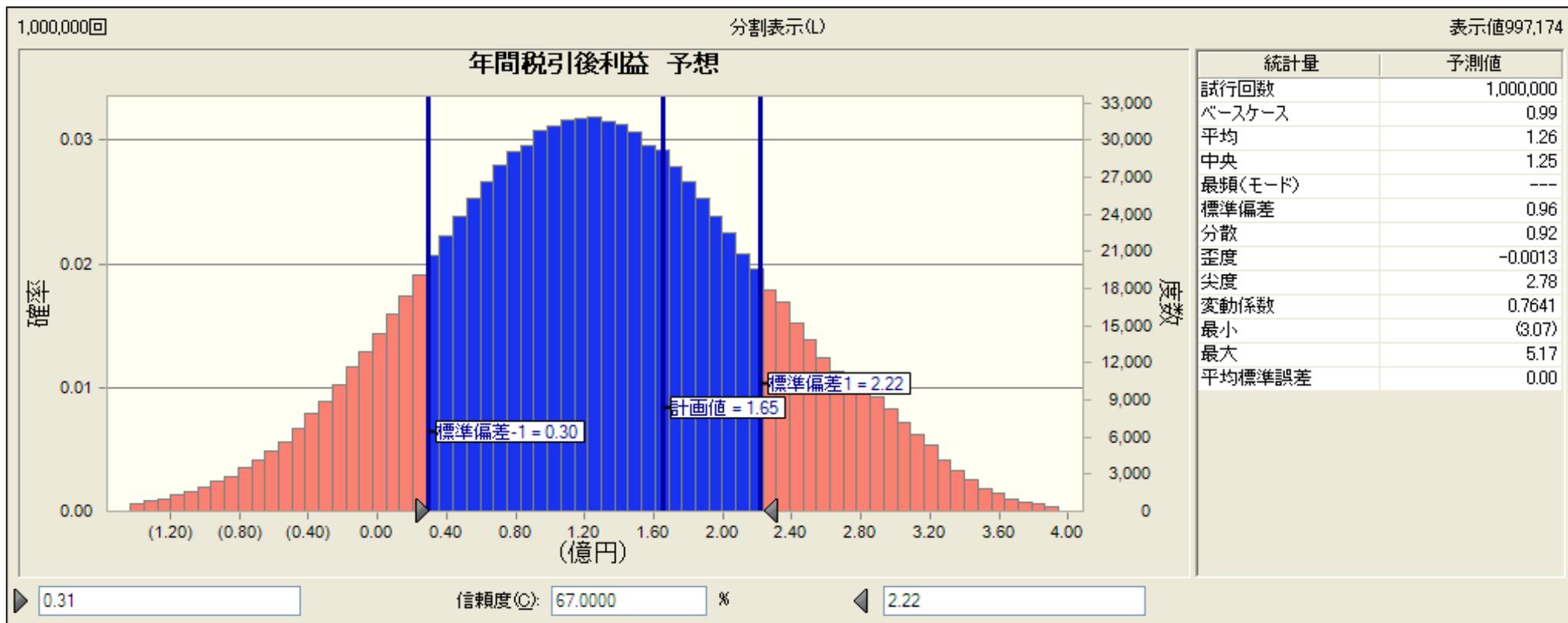


	通期予想(億円)	予想結果
		1σ範囲
営業利益	4.3	2.5~5.9

「Crystal Ball」による通期業績予想 ② 経常利益



	通期予想(億円)	予想結果
		1σ範囲
経常利益	3.5	1.7~5.0

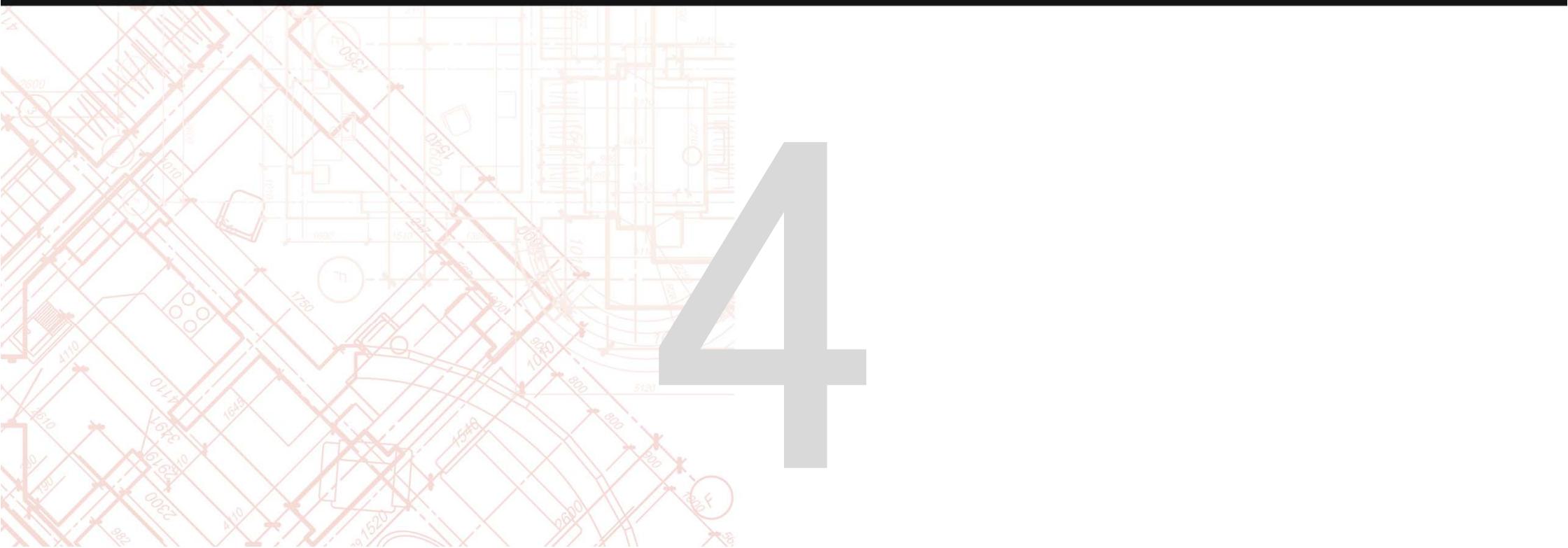


	通期予想(億円)	予想結果
		1σ範囲
当期純利益	1.65	0.3~2.2



KKE
Results
Briefing

付加価値向上による成長戦略

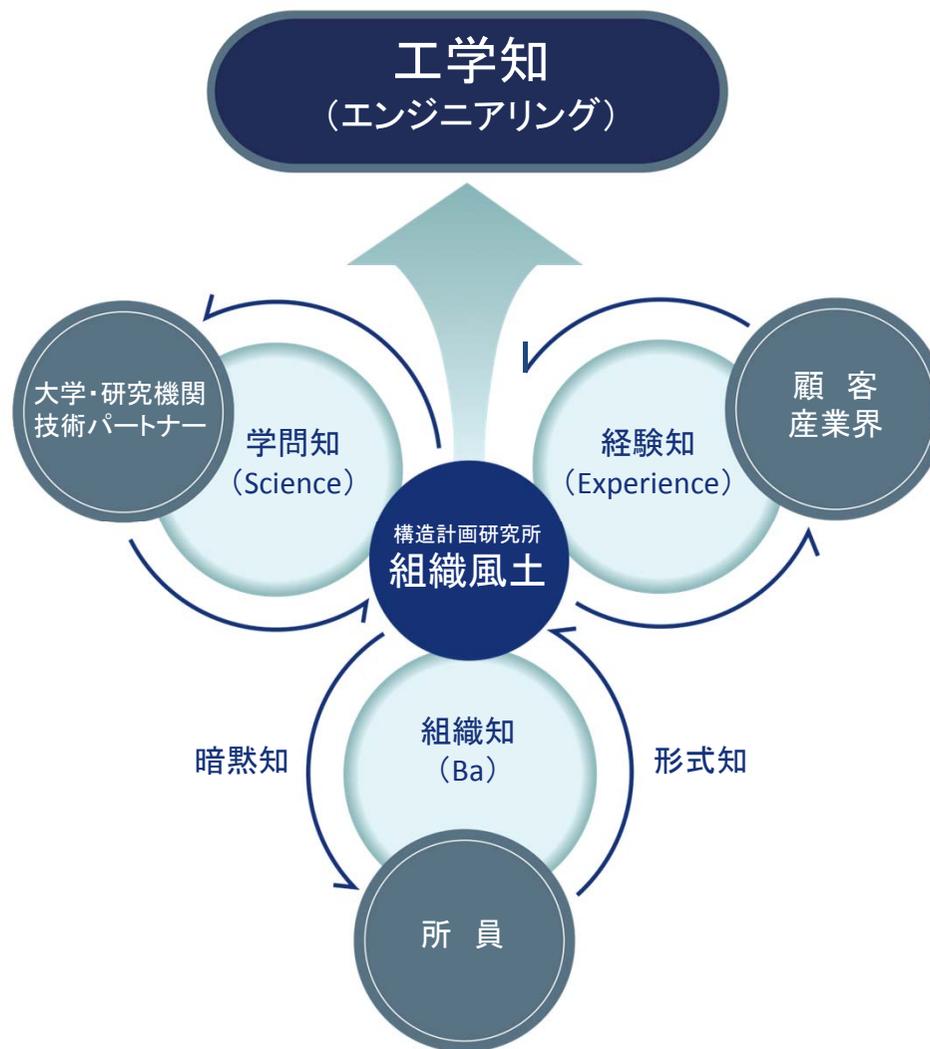


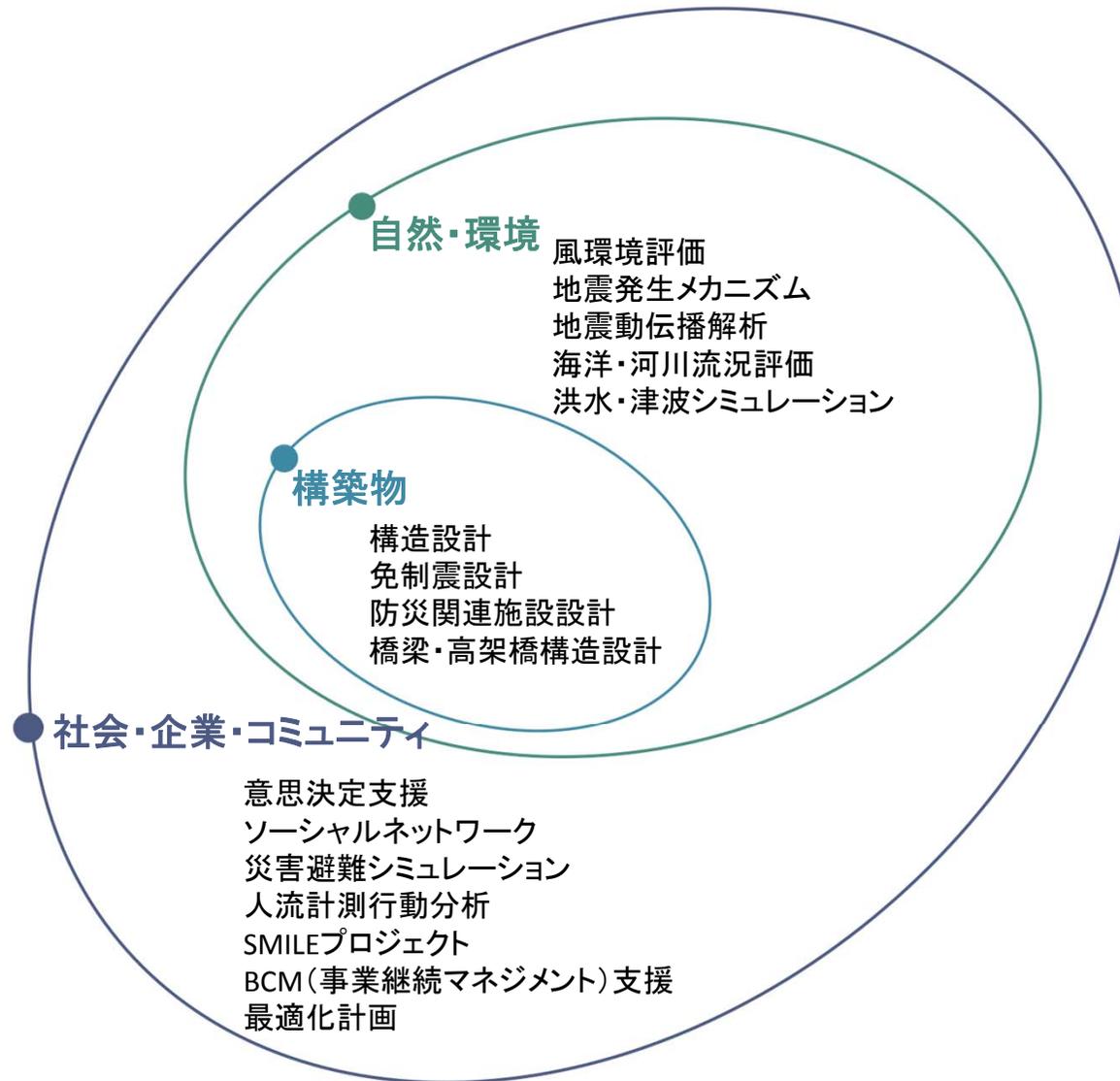
4



Professional Engineering Design Firm

学問知と経験知が織りなす
知の循環から生まれる工学知を用い
顧客に高い価値と満足を提供しつつ
自らも持続的に付加価値成長する
デザイン・ファーム



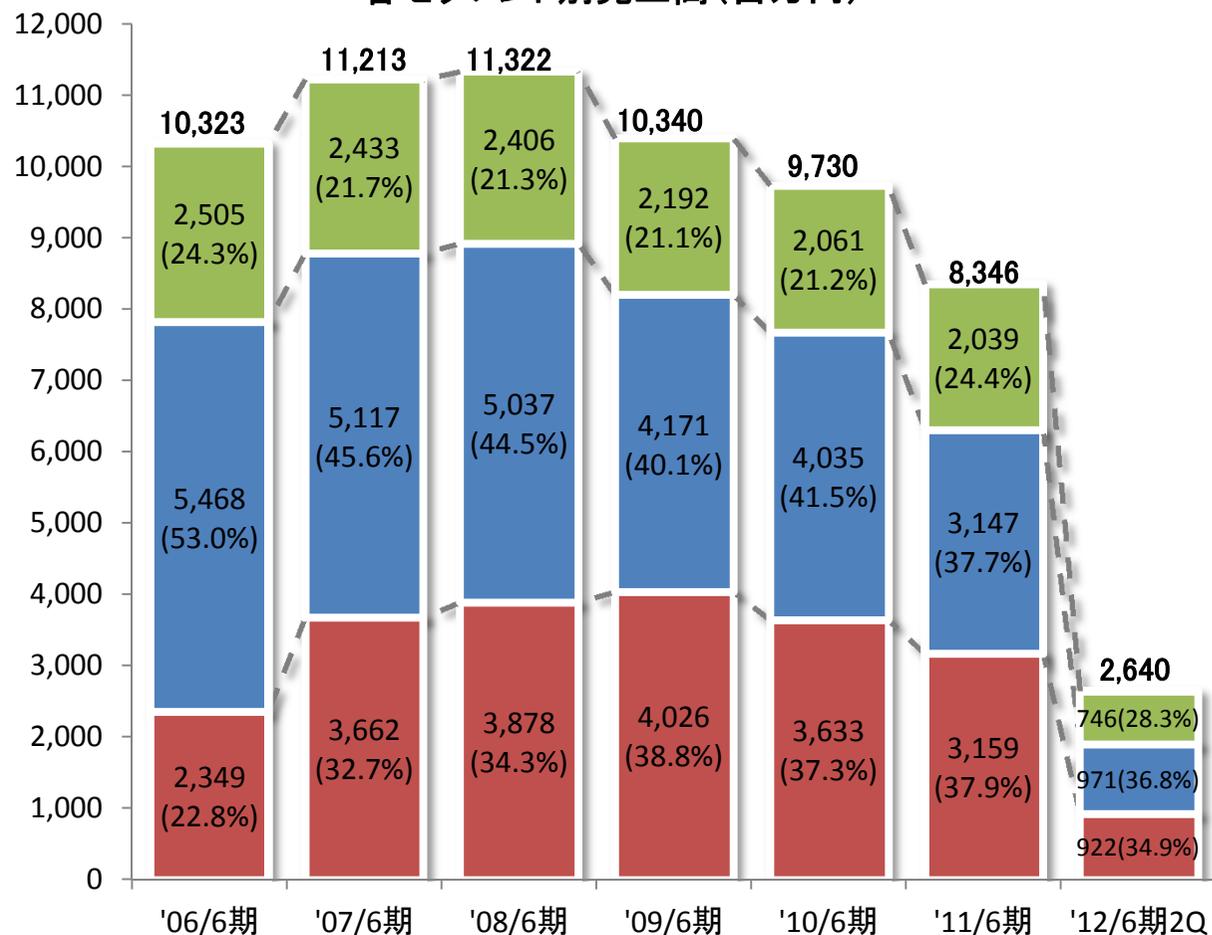




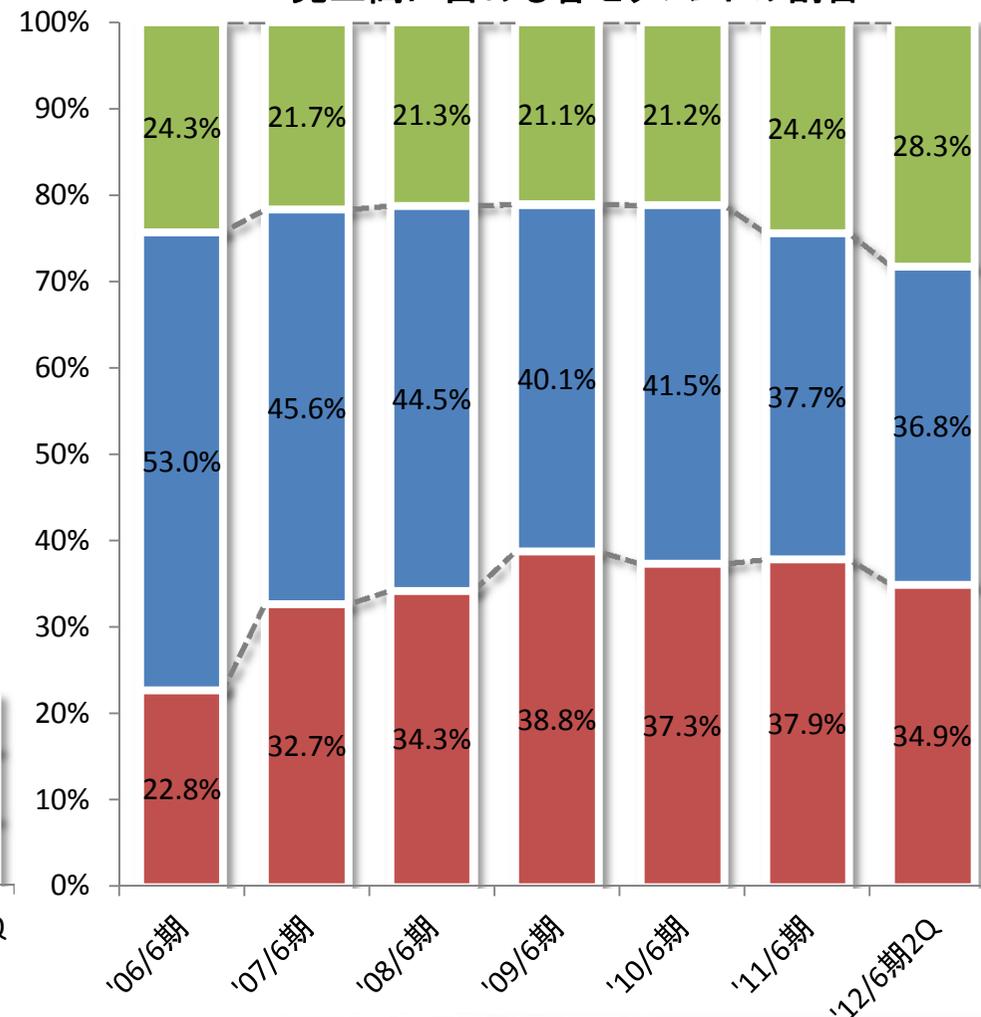
エンジニアリングコンサルティング領域の拡大

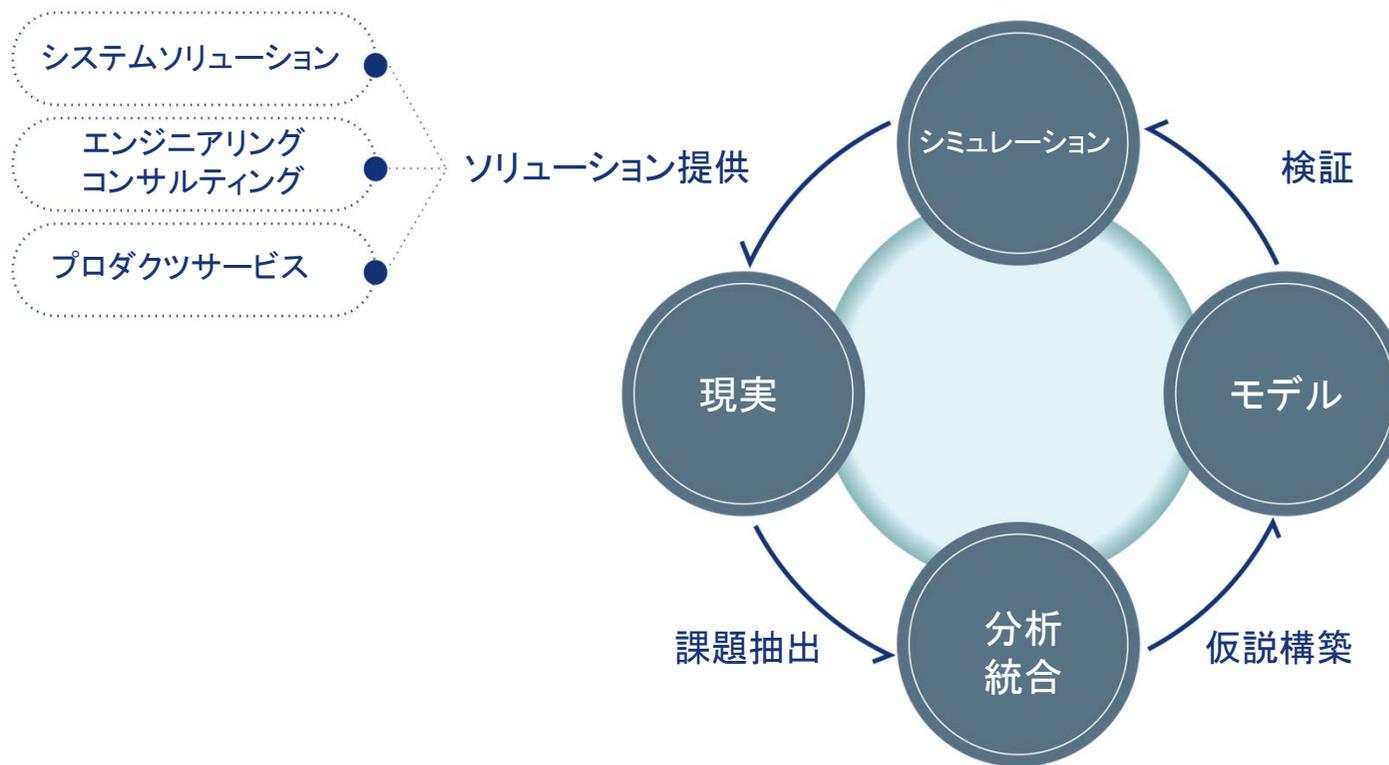
- エンジニアリングコンサルティング
- システムソリューション
- プロダクツサービス

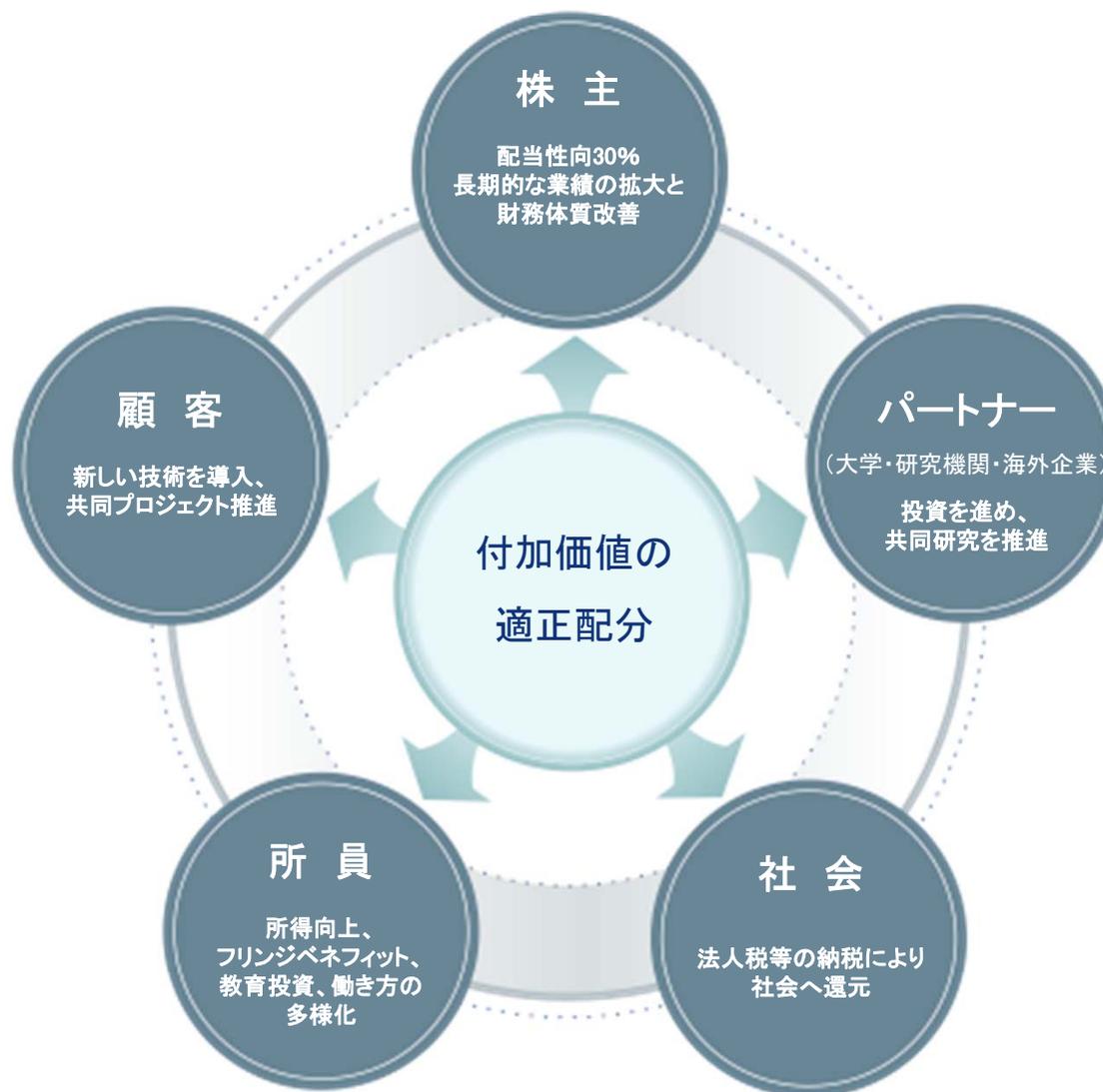
各セグメント別売上高(百万円)



売上高に占める各セグメントの割合









1. 「投資・事業開拓」による付加価値成長



2. 「所員の成長」による付加価値成長



3. 「所員(仲間)の増加」による付加価値成長



※当社では営業利益に人件費を加えた額を付加価値と定義し、各ステークホルダーへの分配可能原資を表しています。

□ 「東日本大震災から学ぶ新しいエンジニアリングの提唱」をテーマに実施

選考プロセス



□ 進行中のプロジェクト案件

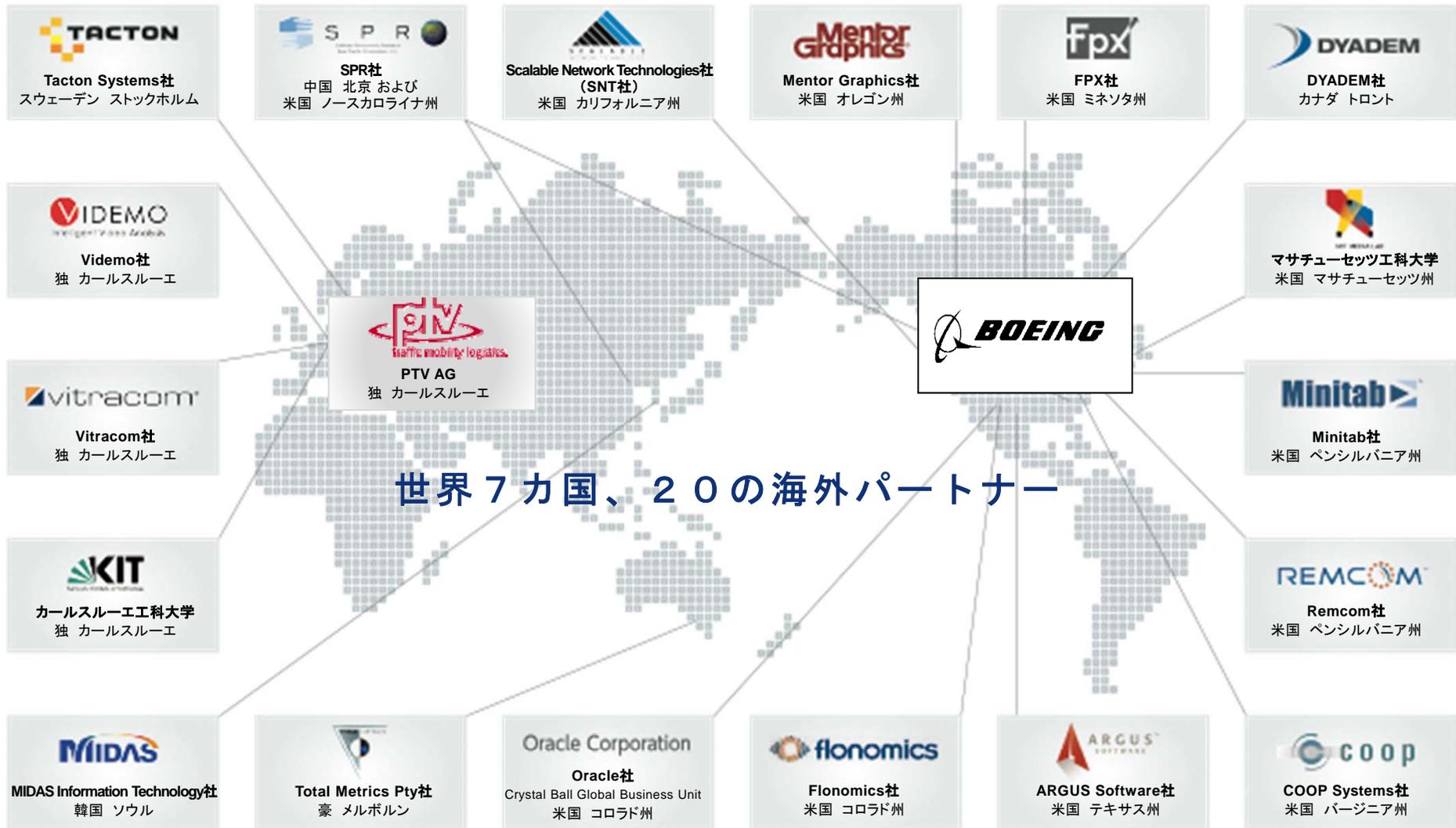
● スマートハウスエネルギーコントロール開発

- 電力使用量の削減とQOL(Quality of Life、生活の質)の維持を両立するシステム
- 個人の行動や嗜好を考慮した電力制御アルゴリズムを機器(タップ)へ組み込み
- 弊社「知粹館」でのエネルギーモニタリングデータとNHK生活行動調査データからシミュレータ構築
- 京都大学大学院松山教授との共同研究

● マーケティングデータ解析手法を用いた人工構築物の異常検知システム

- データの統計的解析から人工物(橋梁、ダム、鉄道、航空機など)の異常を早期かつ正確に発見
- 既に受注した案件 ヘリコプタ異常検知、電車ドア状態監視など
- 設備管理データ解析コンサルティング、機械データ異常検知コンサルティング
- 建設分野、製造分野、情報通信分野、警備保障分野、医療分野など様々な分野で応用可能な技術

「投資・事業開拓」による付加価値成長② 海外のビジネスパートナー



■ 「未踏IT人材発掘・育成事業」スーパークリエイター

当社所員 酒井憲吾【株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 出向中】が、「未踏IT人材発掘・育成事業」スーパークリエイターに選出される。

■ スーパークリエイターとは

ソフトウェア関連分野においてイノベーションを創出することのできる、独創的なアイデア、技術を有するとともに、これらを活用していく能力を有する優れた者

～IPA(独立行政法人情報処理推進機構)委嘱プロジェクトマネージャーにより選出～

■ 担当プロジェクトマネージャー

藤井 彰人氏

グーグル株式会社 エンタープライズ プロダクト マーケティング マネージャー

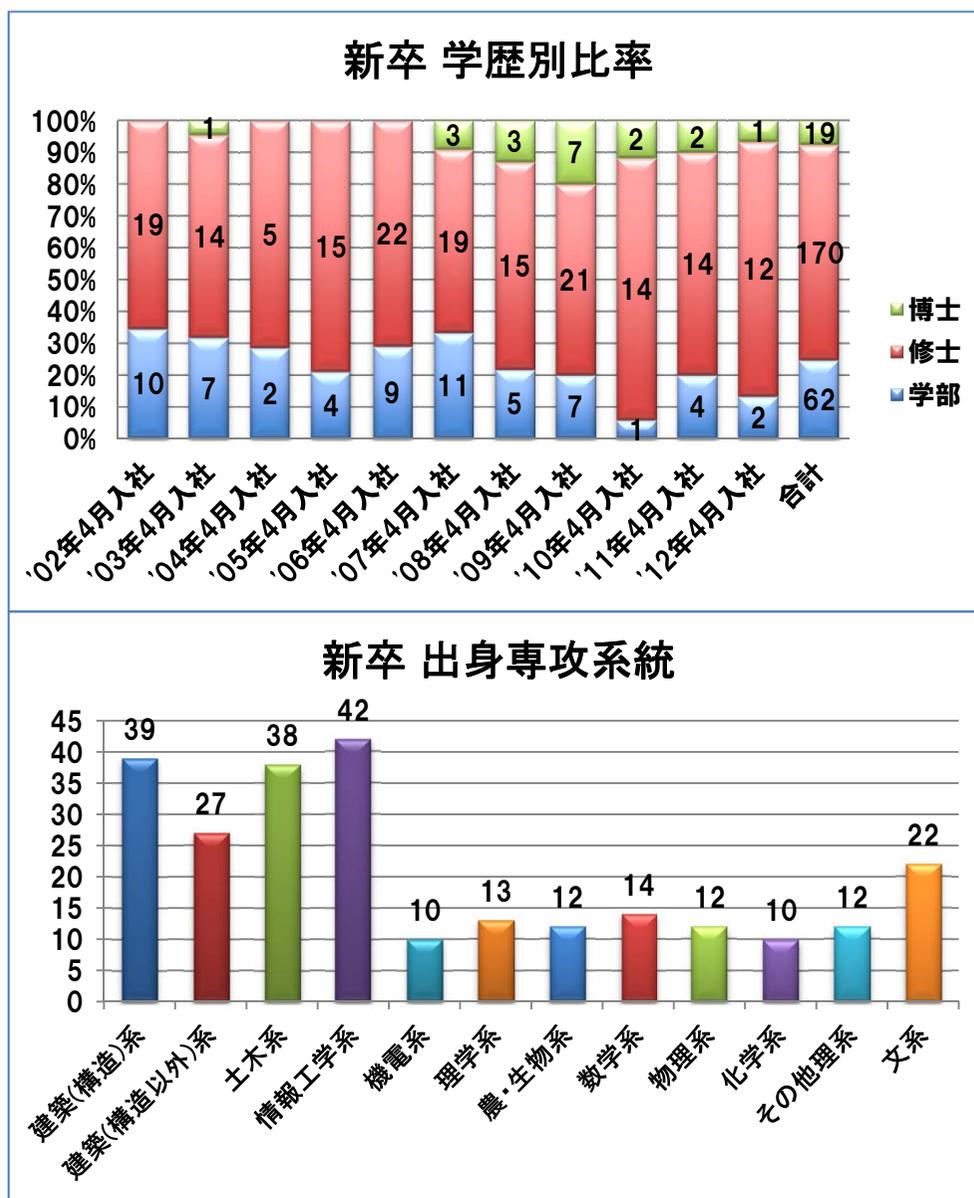
Mashup Awards 1-4 主宰

■ 選出テーマ

「プロセスの仮想化による分散システム開発支援ソフトウェア」

「所員の増加」による付加価値成長 人材の採用

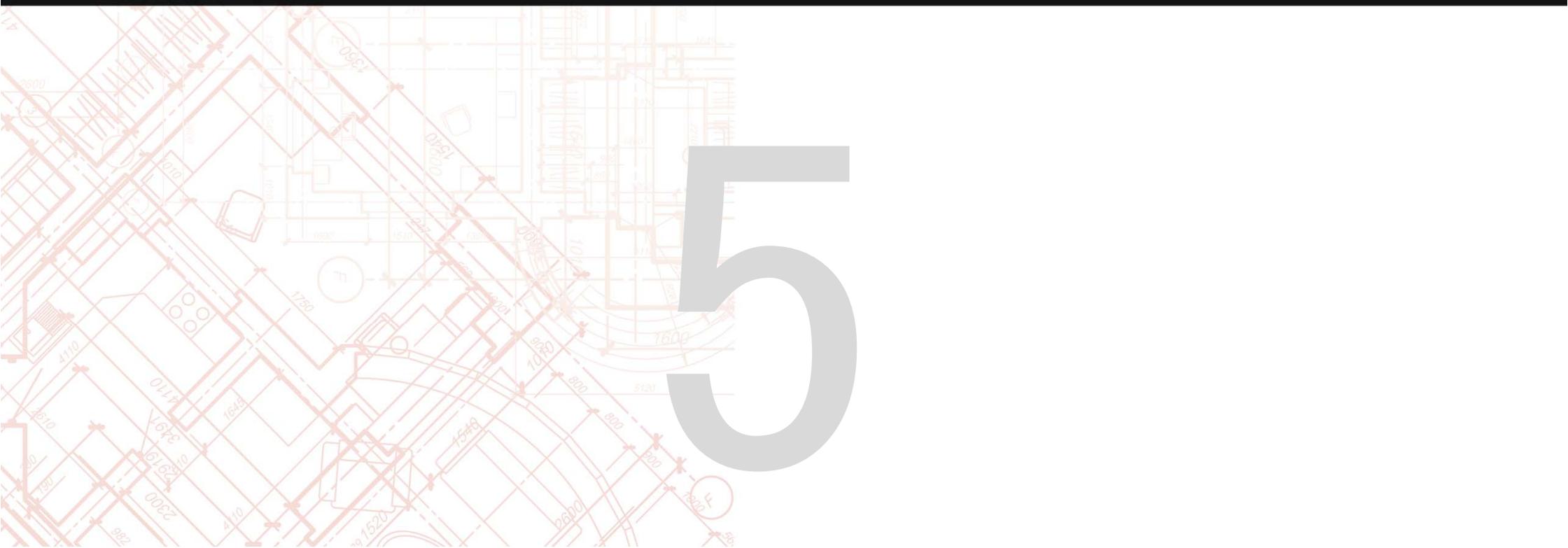
出身校 上位20校	人数
東京工業大学	24
早稲田大学	14
東京大学	14
京都大学	13
九州大学	13
熊本大学	9
筑波大学	8
慶應義塾大学	8
東京理科大学	7
名古屋大学	5
埼玉大学	5
中央大学	5
日本大学	5
東北大学	4
大阪大学	4
横浜国立大学	4
東京農工大学	4
北陸先端科学技術大学院大学	4
佐賀大学	4
上智大学	4





KKE
Results
Briefing

(参考)付加価値成長を実現するために(事業TOPICS)



5

- プロジェクト管理の徹底とソリューションの品質確保
- 組織的な品質管理体制の構築

既存顧客/既存テーマ

既存顧客/新規テーマ

既存顧客/既存テーマ

新規顧客/既存テーマ

新規顧客/新規テーマ

品質管理特命担当

- 見積、契約形態も含む、上流工程からのプロジェクト管理の徹底
- 開発・設計技術者教育およびプロジェクトマネジメント教育の継続実施

システム開発、エンジニアリングコンサル業務

- ソフトウェア工学に基づく高品質・高生産性の追求【アドバンスト・テクノロジー・センター】
- 蓄積された工学知の活用による不良プロジェクトの未然防止【ソフトウェア工学センター】

構造設計業務

- 超高層、免震、制振など特化した技術分野における選別受注
- 構造設計業務専門の独立した品質管理部門の設置【構造品質センター】

■付加価値を向上させるために取り組んでいる**3**つの重点テーマ



防災ビジネス

- 予防・復旧・復興をトータルに支援するソリューションの提供

スマートビジネス

- スマートハウス、スマートシティ、スマートモビリティを実現するソリューションの提供

ビックデータビジネス

- ビックデータの分析に活用できるデータマイニング、レコメンド技術の提供

構築物

建築構造物の耐震・制振・免震検討

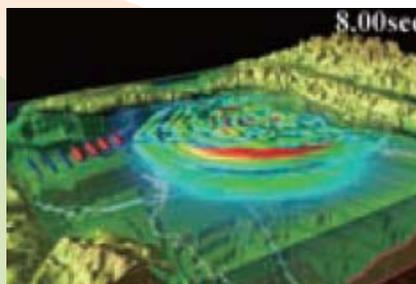


風力発電所の構造解析

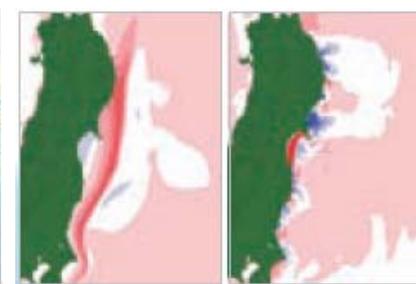


自然

地震動伝搬解析



津波解析



液状化解析



自然

- 地震動伝搬解析
- 津波解析
- 浸水予測
- 液状化解析
- 土砂災害の影響検討

構築物

- 建築構造物の耐震・制振・免震検討
- 3次元免震装置
- 橋梁の耐震評価
- ダムの耐震解析
- 風力発電所の構造解析

社会・企業・コミュニティ

- 災害リスクマネジメント
- 防災情報ナビ
- 設備の被害想定と対策

- 避難・復旧対策
- 環境測定・エネルギーモニタリングシステム
- インフラ施設の予防保全

社会・企業・コミュニティ

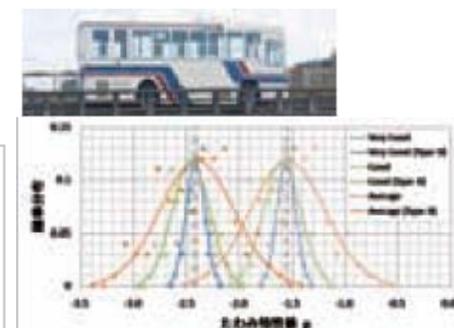
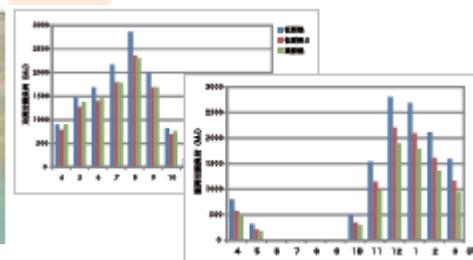
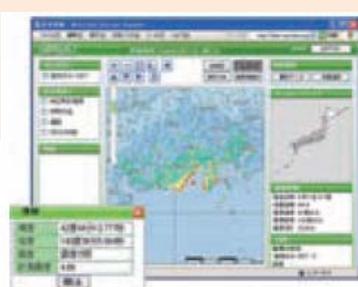
災害リスクマネジメント

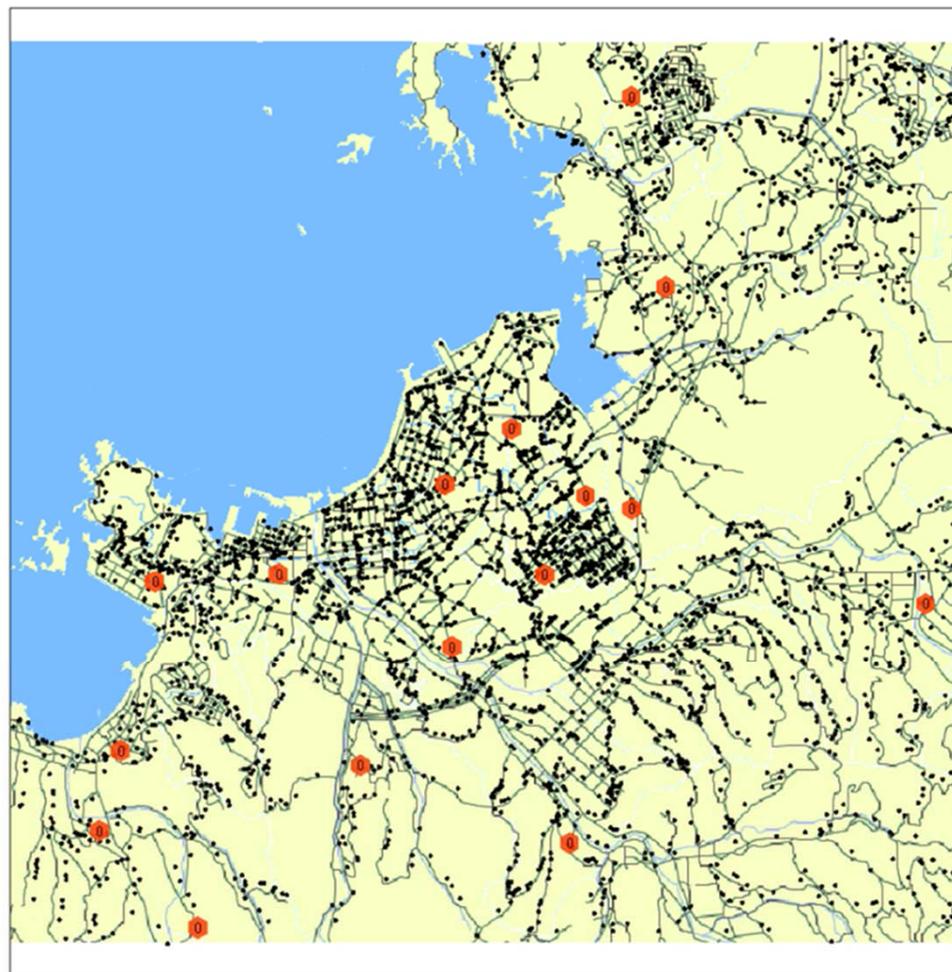
防災情報ナビ

避難・復旧対策

環境測定・エネルギーモニタリング

インフラ施設の予防保全





経過時間：0分20秒

津波シミュレーションと避難シミュレーション(小さな黒い点は人を表しています)
津波波高・遡上計算システム「津波シミュレータ」:(株)構造計画研究所
避難シミュレーション:マルチエージェントシミュレータ「artisoc」:(株)構造計画研究所

 **構造計画研究所**
KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc.

地震動伝搬解析
津波解析
浸水予測
液状化解析
土砂災害の影響検討

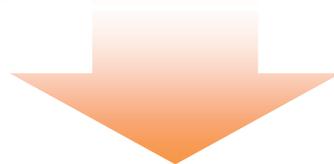
災害リスクマネジメント
設備の被害想定と対策
避難・復旧対策
インフラ施設の予防保全
etc.

 **BOEING**

Phantom Works Strategic, Development & Experimentation international team

軍用製品・技術の研究開発
軍事戦略
宇宙開発
航空開発
防衛・危機管理マネジメント

インフラ施設の保全
災害対策
災害状況シミュレーション
etc.



付加価値の高い包括的災害対策コンサルティングの提供

- 地震災害対策を緊急に求められている地方自治体のニーズに対応
- 両社の技術を複合的に組み合わせることでより実態に即した災害対策を構築可能



ボーイングと構造計画研 防災コンサルで提携

米防衛航空大手のボーイングは、建築・IT(情報技術)コンサルティン

グ会社の構造計画研究所と地震や津波など緊急災害時の人員配置や事前対

策を支援する政府や自治体向けの防災コンサルティング事業で提携する。ボーイングが軍事戦略を検討・分析するシステムと、構造計画研の持つ自然災害の解析技術を組み合わせ、災害被害を想定した分析が可能になるという。

ボーイングは実際の地図をコンピュータの画面上に表示して、戦時の兵員配置や兵器の必要数などを画面上で動かしながら分析するシステムやノウハウを持つ。この技術を民生分野に応用するもので、防災分野のコンサルを本格的に手がけるのは日本が初めてになる。システムに地震や津

波など自然災害のデータを組み込むことで、被害想定や事前に必要となる施設、災害発生時の物資の輸送ルートなどを検証できる。

例えば主要な道路や橋などが使えなくなった場合、ヘリコプターでの物資輸送にどの程度の時間がかかるかなどを分析できる。構造計画研は自然災害の解析に加え建物の構造設計にも強く、より具体的に正確な災害分析が可能になる。



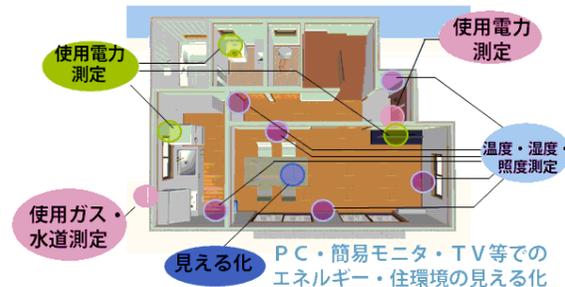
共同記者会見の様子



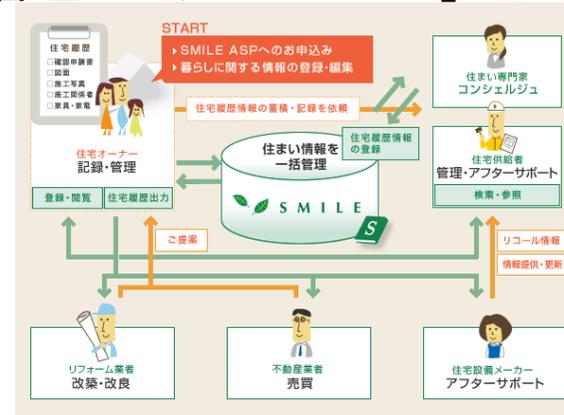
1 世界初三次元免震住宅を実用化



2 環境測定・エネルギーモニタリングの実証フィールド



3 住宅履歴管理システム「SMILE」による情報管理





モビリティマネジメント(ヒューマンファクターを取り入れた交通シミュレーション)



人と車、人と自転車などモード間の相互影響を考慮した交差点のシミュレーション

ドイツPTV社製交通シミュレータ: VISSIM(販売代理店:(株)構造計画研究所)

* 津波および避難シミュレータと組み合わせる事により車での避難行動もシミュレーション可能

スマートシティと未来のモビリティ

■開催概要

日時: 2012年2月21日(火) 13時半～

会場: 名古屋観光ホテル

参加: 約300名(予定)



KKE Vision 2011(東京)の様子

■講演内容

【基調講演】

スマートモビリティの実現に向けて

東京大学先端技術研究センター 教授
西成 活裕 氏

交通と物流の最適化による世界のまちづくり
～PTV－Moving people & goods worldwide～

PTV社(ドイツ) CEO
Vincent Kobesen 氏

社会シミュレーションの現在
～要素還元法から複雑系シミュレーションへ～

株式会社構造計画研究所
CEO、社会デザイン・マーケティング部長 服部 正太

スマートシティの事業化に向けた課題と方策

日経BP クリーンテック研究所 所長
望月 洋介 氏

ー複雑な交通現象・都市環境を科学するー

■開催概要

日時: 2012年2月23日(木) 13時～

会場: 東京国際フォーラム ホールD7

参加: 約200名(予定)

■講演内容



海外における交通・ロジスティクスソリューション最新動向(同時通訳)

PTV社(ドイツ) CEO
Vincent Kobesen 氏

都市モビリティの課題と工学的アプローチによる解決

株式会社構造計画研究所
社会デザイン・マーケティング部 岡平 祐介

社会デザインとモビリティマネジメント

株式会社構造計画研究所
創造工学部 社会シミュレーション室 北上 靖大

ヒューマンファクターを取り入れた交通シミュレーション活用のご紹介

【特別講演】

名古屋大学大学院 環境学研究科

これからの都市モビリティ政策とその課題

森川 高行 教授

レコメンドとは

- ECサイト等で、ユーザーの属性や購買履歴から、ユーザーに適したオススメ商品やサービスを自動的に推薦するシステム

レコメンド+コンサルティング

- 単なるサービスパッケージの提供ではなく、顧客企業の状況やテーマに応じた独自ロジックの構築→システム開発→ユーザビリティ評価までを、トータルソリューションとして提供

導入により期待できる効果

- ユーザーひとりひとりに合った商品を推薦することで、①購買増加、②顧客満足度の向上、③企業ロイヤルティの継続・向上が期待

KKE Point!

豊富なマーケティング実績

- ユーザアンケートにより、御社ユーザに喜ばれる指標で、レコメンドを評価



大規模データ対応

- 自動計算するための環境整備

トータルサポート

- 御社のビジネスモデルに最適なレコメンド技術の検討からシステム運用までトータルに



橋梁



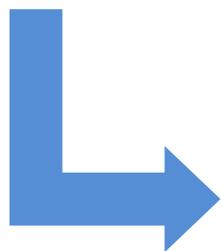
鉄道



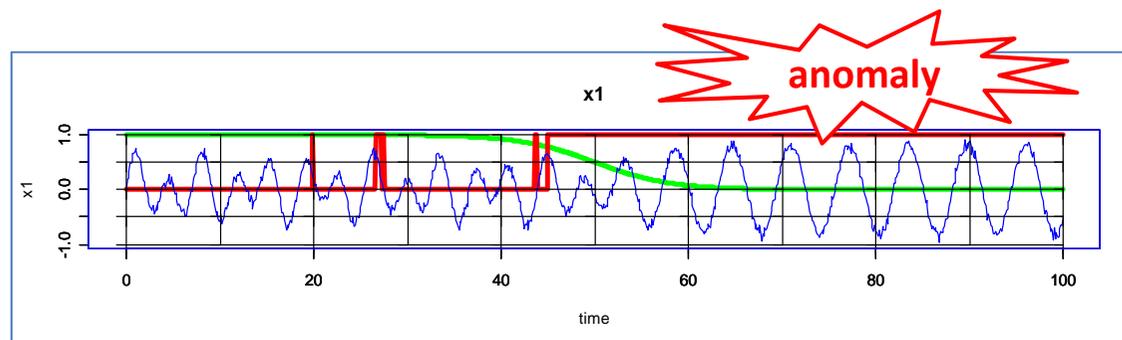
自動車



航空機



統計的解析



■人工物に生じた異常を早期に正確に発見
⇒人命や資産に関わる致命的な破壊を防止

本日はお忙しい中お越しいただき
誠にありがとうございました

今後とも何卒よろしくお願い致します

【お問い合わせ先】

株式会社 構造計画研究所

経営企画部

T E L : 03-5342-1093

F A X : 03-5342-1140

E-MAIL : ir@kke.co.jp

H. P. : <http://www.kke.co.jp>